



申込書の
提出期日

令和7年
1月17日
まで

令和7年産米

栽培ガイドライン 生産資材申込書

信頼

真心



経営理念

私たちは、人と自然とのかかわりを大切にし
食を守り、地域に愛されるJAグリーン近江をめざします。

グリーン近江農業協同組合



耕そう、大地と地域の未来。JAグループ

発行：グリーン近江農業協同組合

監修：滋賀県東近江農業農村振興事務所農産普及課

農業情報配信中!

ええやん 農業!

営農経済事業部
公式YouTubeチャンネル

【はじめに】

近年は、度重なる異常気象（豪雨や長雨・台風の襲来・夏の酷暑・日照不足等）が発生しており、水稻を始めとした農作物の品質や収量に大きな影響を受けています。令和6年産水稻においても、出穂期以降の夏の酷暑の影響から登熟期の前後半に渡ってお米の品質を左右するデンプンの充実が阻害され、乳白粒・背白粒・基部未熟粒といった未成熟なお米が大量に発生しており、品質・収量等に影響が出ました。そのような気候変動の中でも高品質なお米や収量増加の取り組みに向けて、基本技術の励行を基盤とし、特に①土づくり ②水管理 ③適期作業 について、栽培ガイドラインとしてまとめましたので、ご一読いただき、令和7年産米の栽培にお取り組みくださいますようお願いいたします。

また、JAグリーン近江では、今年産米から従来のプラスチック被膜の緩効性肥料とともにノンコート緩効性肥料をガイドラインに掲載いたしました。従来のプラスチックを使用した被覆肥料は、徐々に肥料成分が溶け出すことから、田植時に投入することで、夏場の暑い時期の追肥の手間が省けて省力化できるとともに、作物の生育に応じて肥料成分が溶け出すため無駄が少なく、全体として肥料の投入量も減り、地下水などの水域への栄養分の流出なども抑えられることから、環境への負荷も低減できる一方で、使用後の被膜殻がほ場から河川や琵琶湖に流出することによる環境影響が懸念されています。ノンコート肥料の試験結果や使用上の注意についても掲載しておりますので、ご確認ください。特に、環境直接支払の取り組みにおいて緩効性肥料の使用を選択される方につきましては、新しいノンコート肥料をお使いくださいますようお願いいたします。

令和7年の夏も酷暑となることが想定されます。JAの販売戦略として、「みずかがみ」や「きらみずき」といった高温耐性をもった品種の作付け拡大、各地域の特別栽培米・ブランド米の強化や事前契約の徹底を継続して行い、実需者との結びつきをより深め安定的な流通確保に努めてまいります。

農家の皆様におかれましては、ガイドラインを参考に天候やほ場に応じた水管理、肥培管理により令和7年産米の収量・品質を確保いただくとともに、1袋でも多くのJAへの出荷をよろしくお願い申し上げます。

目次

◆ガイドラインに沿った栽培で育苗施設の効率化運営へ	P 1
◆需要に応える産地・求められる産地	P 2
◆令和7年産米出荷奨励一覧	P 3
◆収量確保のための重点取組	P 4、5
◆収量・品質向上対策～気候変動に対応した米づくり～重点対策	P 6、7
◆プラスチックを含まない肥料への移行について	P 8
◆直播資材「リゾケアXL」について	P 9
◆良質な米づくりは土づくりから目指せ!!すっきりとした稲姿	P 10
◆水田の地力の実態は 土壌診断に応じた土づくりと施肥コスト削減	P 11
◆土づくりのポイント①有機物の施用 土づくりのポイント②深耕	P 12
◆土づくりのポイント③土づくり肥料の施用	P 13
◆育苗期～生育期にかけて微量要素資材投入で『元気な稲』づくりをしましょう!!	P 14
◆増えていますカメムシ被害	P 15
◆統一版特別栽培米『みずかがみ』推奨ガイドライン	P 16
◆統一版特別栽培米『コシヒカリ』・『秋の詩』推奨ガイドライン	P 17
◆一般栽培米推奨ガイドライン	P 18
◆種子消毒・育苗培土・水稻肥料成分表	P 19
◆肥料・農薬商品一覧	P 20、21
◆初中期一発除草剤の特徴	P 22
◆薬粒の使い方・箱施用剤の特徴	P 23
◆雑草防除体系	P 24
◆除草剤の特徴	P 25
◆水田の主な雑草 ややこしい雑草の見分け方	P 26、27
◆除草剤の上手な使い方	P 28
◆イネ縞葉枯病県内にて被害拡大中。広域での対策を	P 29
◆水稻病害虫判定シート	P 30、31
◆マイクロプラスチック対策・大口取引奨励・引取奨励について	P 32
◆みずかがみ遵守事項確認書・ほ場一覧・資材申込書等	P 33～



ガイドラインに沿った栽培で 育苗施設の効率運営へ！

現時点での育苗施設取扱品種をご案内いたします。育苗施設の取扱品種等の決定については1月頃にご案内いたします。

令和7年度も育苗施設利用者の方に「特別栽培米」にお取り組みいただけるよう、全品種・全苗種を温湯消毒で対応いたします。

育苗センター

◆令和7年産米育苗取扱一覧(案)

品種名	田植え予定日	苗種		
		発芽苗	硬化苗	密苗(発芽)
みずかがみ	4月末～5月上旬	●	●	●(指定日)
コシヒカリ	5月中旬～下旬	●	●	×
キヌヒカリ	5月中旬～下旬	●	●	×
秋の詩	4月末～5月中旬	●	●	×
日本晴	4月末～5月中旬	●	●	×
きらみずき	5月中旬	●(指定日)	×	×



※ 令和7年産の育苗においては価格改定を検討しております。

※ きらみずきは発芽苗対応のみいたします。(引取日指定)

※育苗施設で取り扱うきらみずきの発芽苗はオーガニック栽培には使用できません。

※密苗についても引取日を指定させていただきます。

※田植え予定日は、硬化苗の引渡予定日(除：発芽苗のみ対応品種)を示しております。

※過積載にご注意下さい。

(例) 軽トラの場合 発芽苗1枚5kgなので、70枚までの積載です。



苗種類

発芽苗：芽出し直後の苗で、田植えまで17日前後の育苗管理が必要です。

硬化苗：すぐに田植えができる苗です。

密苗：育苗センターにおいては発芽苗のみの対応となりますが、枚数を減らしながら植えられるので大変省力的です。

また田植え日は、発芽出荷日より14日～17日が目安です。収量の差は見られません。(10a当たり10枚)

JAグリーン近江の密苗は、乾糶約250g撒きとなっており、一般的な田植え機でも掻き取り量の調整で使用が可能な機種もあります。

注：一般苗よりも播種量が多いため、生育期間が短くなったり、育苗期間が長くなると、いもち病が発生する可能性があります。

求められる産地・需要に応える産地として

安定生産・安定供給が農家所得増大につながります！

【みずかがみ】生産拡大をお願いします！



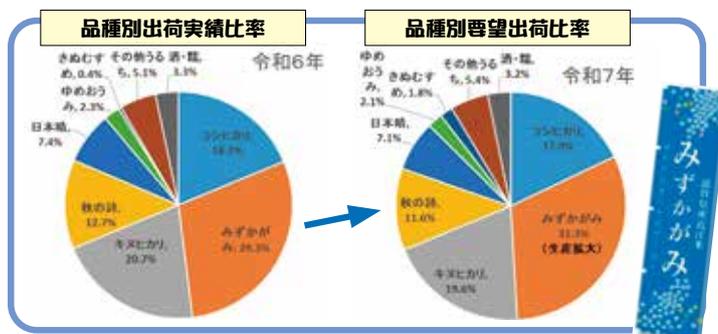
令和6年産 1,253ha → 令和7年産目標 **1,400ha** → 令和8年産目標 **1,600ha**

- ①実需者からの評価が高く、品質の安定性・食味・歩留まり等に優れておりさらなる生産拡大・販売拡大を求められています。
- ②高温耐性に優れて品質・収量共に安定しており、生産者の所得増大に繋がる品種です。

農産物直売所「きてか～な」でも一番人気の品種であり、パックごはんや玄米茶ペットボトルなど様々な商品化を実施し生産者の所得増大に大きく貢献しております。今後も継続した高温耐性品種の作付け拡大が生産者と実需を結ぶことに繋がりますので、みずかがみの作付け拡大をお願いします。

実需の要望と生産現場の課題解決に応じた生産拡大

コシヒカリ・キヌヒカリは一定の需要はあるものの高温の影響を受けやすく、品質・収量共に不安定な作柄が続いています。みずかがみは価格帯もコシヒカリと同程度で取引され、1等比率も高く安定しています。所得増大に向けてみずかがみの生産拡大をお願いします。



【きらみずき】生産拡大 R6 70ha → R7 100ha

オーガニック栽培を目指した栽培体系を基本としたきらみずきの価値を伝えるため新商品の開発を行い「きてか～な」や生協関係を中心に販売を展開しました。今後は関西市場での安定販売を目指し、販売拡大をしていきますので生産拡大をお願いします。



新商品 ロウカット玄米



きらみずきの取組区分

【にじのきらめき】契約栽培の取組

令和6年産よりトライアル企画を実施し、一定の成果を得ることができました。令和7年産については契約栽培として取組を行います。令和8年産の生産拡大に向けて種子の確保を行い、さらなる生産拡大を図ります。

品種別販売（需要）状況

- みずかがみ：近江米として安定した品質と収量で高評価を得ており、要望が高く需要が増えている。
- コシヒカリ：全国銘柄として安定した需要がある。品質と生産量の安定が求められている。
- キヌヒカリ：品質に課題はあるものの主に業務等の需要が多く、安定した数量が求められている。
- 秋の詩：量販店や生協と結びついており、継続した需要がある。
- 日本晴：業務・酒造用かけ米等の一定量の需要がある。
- 酒米：増加した日本酒の需要に応じた酒米生産拡大が求められている。

収量確保のための重点取組

①米づくりの基本は土づくり

- ・ 稲の養分吸収を担っているのは根です。
収量・品質は、根の活力によって左右されます。
- ・ 根の力を最大限に引き出すためには、**土づくりが重要**です。
- ・ 土づくりを徹底することで、気候変動にも強い稲を育てることができます。



②秋期の鋤き込み（秋耕）

- ・ 有機物を分解する土壌微生物は気温が高い環境下で活動が活発化します。「稲刈り後1か月以内」を目標に秋耕を行いましょう。
- ・ ロータリーの回転は「ゆっくり」、深さは「浅く」秋耕を行いましょう。
- ・ 秋耕の前には、「土づくり資材」を散布しましょう。土づくり資材に含まれるアルカリ分は、稲わらの分解を助ける効果もあります。秋に稲わらを分解することで、**翌年のガス湧き対策（還元障害）にもなります。**



耕耘深さ：約17cm

③春期の鋤き込み（春耕）

- ・ 春耕は「ゆっくり深く」耕起することで稲の根域拡大倒伏軽減効果も期待できます。
- ・ 理想の耕起の深さは15センチ程度です。

④田植えは晴天日に

- ・ 活着を良くするため、慌てず好天日に行く。
- ・ 田植え後の深水管理は、苗の低温保護・除草剤の安定効果となりますが、**過度な深水管理は分けつを妨げます。**



収量確保のための重点取組

⑤箱施用剤の確実な施薬

- ・「いもち病」や「ウンカ（イネ縞葉枯病）」は減収の原因となるので、必ず規定量の箱施用剤を施薬する。
- ・ウンカ類に対して効果の高い成分「トリフルメゾピリム」「オキサゾスルフィル」「フルピリミン」を含む箱施用剤を使用する。



ヒメトビウンカ



⑥田植え後の水管理

- ・除草剤散布後1週間は落水、かけ流しをせず、田面を露出しない程度の水深を保ち、分げつ確保に努める。
- ・特に「みずかがみ」は初期生育が緩慢なため、**分げつ確保が収量に直結します。**

⑦収量確保には分施肥体系>一発肥料体系

- ・近年の異常高温では、一発肥料の溶出が前倒しとなり生育後半の肥切れが懸念されます。
- ・一発肥料体系でも、葉色が薄い場合は追加施肥の実施。

⑧病害虫防除・畦畔除草の徹底

- ・カメムシ、ウンカを呼び込まないために畦畔除草の徹底。
- ・畦畔除草を徹底することで、風通しが良くなり「いもち病」予防となります。
- ・吸汁能力の高い「イネカメムシ」「ミナミアオカメムシ」は斑点米、減収の原因となるため、必要であれば2回防除を行う。



R6.9月 管内にて

吸汁能力



- ミナミアオカメムシ・イネカメムシ
- クモヘリカメムシ
- ホソハリカメムシ・トゲシラホシカメムシ
- アカスジカスミカメ

収量・品質向上対策 ～気候変動に対応した米づくり～

令和6年産の米の収量・品質状況

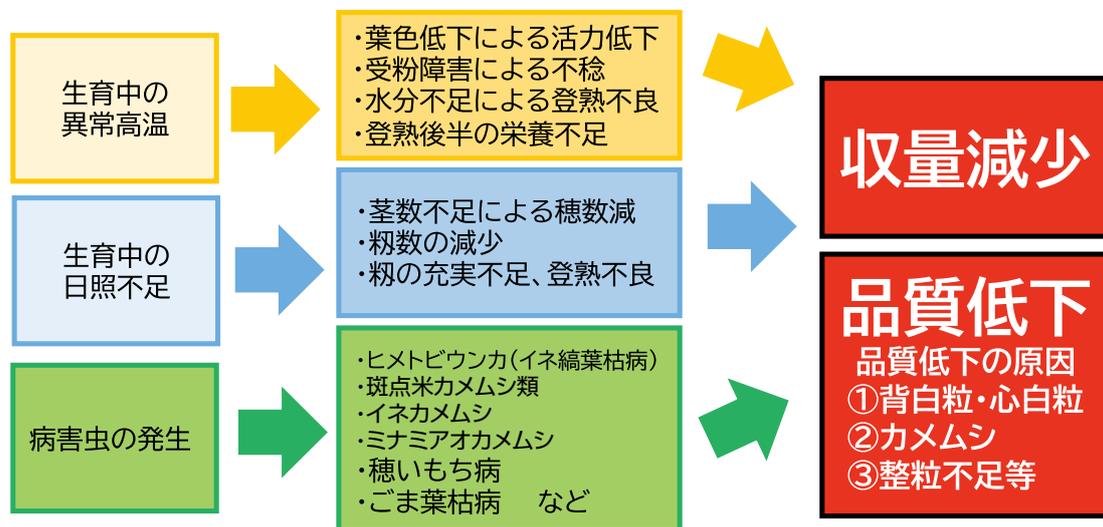
・気候変動（高温・台風・豪雨・日照不足など）の影響により、管内の収量品質が近年にない不安定な状況に陥っています。

※栽培管理を見直した米づくりを実践しましょう！

- ・収量の聞き取り状況：平均7～8俵／10a 少ない生産者5～6俵／10a
- ・品質状況（1等比率10/11現在）：みずかがみ86%、コシヒカリ54%、キヌヒカリ45%
日本晴57%、秋の詩49% 下位等級原因：乳白・心白・腹白・カメムシ

【滋賀県作況指数：100（9/25現在）】

収量・品質低下の原因は？



品質低下の原因は？

登熟期間の高温や日照不足などの気候変動により、次のようなお米が多く発生し、品質低下となります。

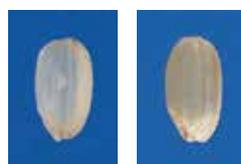
乳白粒・心白粒



乳白粒 心白粒

- 解説** 胚乳部に白色不透明な部分がある。登熟初中期にデンプンの供給が追いつかず、部分的にデンプンが不足して発生
- 気象的要因** 登熟初期（出穂後20日間）の高温または日照不足
- 栽培的要因** 籾数過多、総籾数が30,000粒/m²を上回ると発生率が高い

背白粒・基部未熟粒



背白粒 基部未熟粒

- 解説** 粒の背部、基部に白色不透明な部分がある。登熟期後半にデンプンの充実が阻害されて発生
- 気象的要因** 登熟期の高温、高日射条件
- 栽培的要因** 登熟期の稲体の活力低下（低窒素条件）
出穂前後から成熟期までの水不足、病害（紋枯病等）

胴割粒



胴割粒

- **解説** 米粒に亀裂がある。気象条件等による吸水や放水のために粒内水分が不均一となりゆがみが発生
- **気象的要因** 出穂後10日間の高温（特に最高気温）
- **栽培的要因** 生育期間の水不足、早期落水、刈り遅れ、急激な乾燥、登熟後半の栄養不足

重点技術対策

気候変動に対応できるように稲体の活力を維持し、技術対策を実践しましょう！

①土づくり

土づくりは、土壌の物理性、化学性および生物性が整い地力が向上し、水稻の安定生産や収量・品質の向上に繋がるため重要です。

土づくりの3ポイント、「有機物の施用」、「深耕15cm以上」、「土づくり肥料の施用」を実践しましょう。詳しくは、土づくりの項を参照してください。

②適正移植

過剰な生育量や籾数を軽減し、無効分けつを抑え、太い分けつの茎や稔実の良い穂を確保し、生育後半まで栄養状態を維持するため、地域・品種に応じた移植時期と栽植密度を実践しましょう。

③水管理

登熟後半まで稲体の活力を維持し健全化を図るため、生育時期に合わせた水管理を行いましょう。

- ・ 移植2週間後には、**浅水管理で分けつ促進と還元障害を回避する。**
- ・ 早めの中干しで無効分けつを抑える。過度な中干しは、根を痛めるため行わない。環境直接支払の長期中干しを実施される方は、14日間以上の中干しが必要。（晴天が続き、ほ場の土が白く乾く場合は走水をし、水分調整をしてください。）
- ・ 出穂前後各3週間は湛水管理で白未熟粒の抑制と籾の充実を高める。
- ・ 収穫作業に支障のない限り収穫直前まで入水する。

④施肥管理

稲体の栄養を維持し、籾の充実向上による収量確保と白未熟粒などの外観品質の低下を防ぐため、葉色が薄い場合は、追肥を施用しましょう。

- ・ 施用時期：**出穂期から穂ぞろい期まで**
- ・ 施用量：**窒素成分で1～2kg/10a程度**

⑤カメムシ防除

畦畔除草と、適期防除の徹底!!!

- ・ 出穂したイネ科雑草がカメムシの誘引となるため、本田内のヒエ除草、畦畔の草刈りを適時行う。
- ・ カメムシの発生が多い場合は1回では完全に防除しきれないため2回防除を行う。

⑥適期収穫

刈り遅れると胴割粒や白未熟粒、茶米の発生が増加し品質低下するため、適期に収穫を行いましょう。

- ・ 収穫適期：**籾黄化率85～90%**（「みずかがみ」は**90%**）
- ・ 近年は、高温で登熟日数が短い傾向にあります。ほ場をよく観察するとともに、早めにコンバインや乾燥機等、収穫の準備をしましょう。

●プラスチックを含まない肥料への移行について（一部）

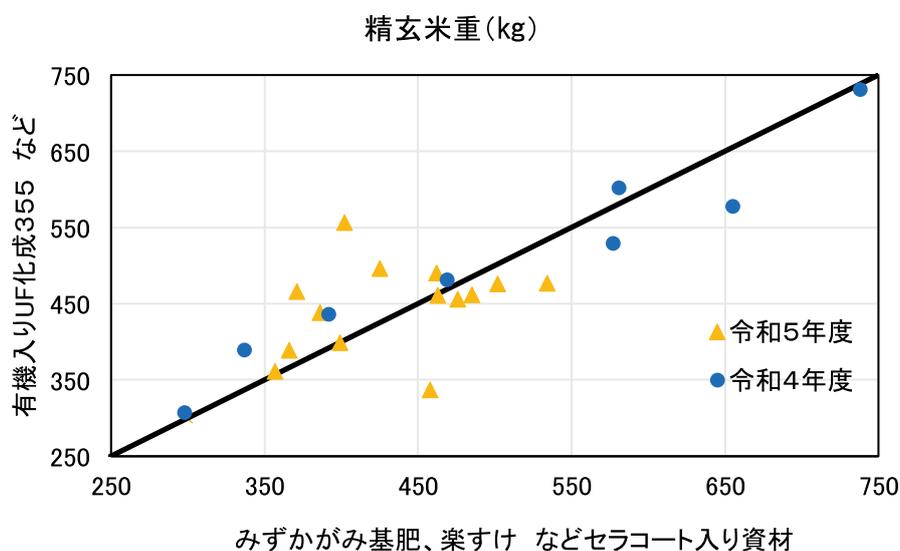
基肥一発肥料にはプラスチックが使われています。

被覆肥料は、プラスチック等で肥料をコーティングしているため、肥効の調節が可能です。施肥回数減による軽労化、施肥量の削減、養分の流出防止等の利点がありますが、一方で肥料成分が溶出した後の被覆殻が河川や海へ流出することが問題になっています。

環境保全型農業直接支払交付金において※取組⑪（緩効性肥料の利用及び長期中干し）を選択する場合はプラスチック被覆肥料以外の緩効性肥料を使用する必要があります。

※取組⑪（緩効性肥料の利用及び長期中干し）令和6年取組

プラスチック被覆肥料以外のウレアホルム肥料について、令和4年産から毎年改良を重ね実証試験を実施いたしました。その結果、現行品との生育・収量ともに概ね同程度の確保ができることが確認できました。ただし、高温時については、生育後半に葉色が薄くなる場合、追肥が必要な場合があります。



●令和8年産から特別栽培米推奨農薬が変わります

箱施用剤：「ツインキック箱粒剤」 → 実証試験・選定中
 除草剤：「キマリテ」 → 実証試験・選定中
 殺虫剤：「スタークル」 → 「キラップ」

令和8年産に向けたご提案 直播資材「リゾケア[®]XL」

☆育苗や田植え時の労力確保にお困りの方へ☆

水稲湛水直播用の種子処理技術「リゾケア[®]XL (RISOCARE)」をご紹介します。



■リゾケア[®] XLの特徴

- ・“酸素供給剤”と“殺虫殺菌剤”を特殊技術で**完全受託制にてコーティング**します。
(農薬成分：過酸化カルシウム、メタラキシルM、シアントラニプロロール)
- ・従来の資材より**非常に苗立ちが良い**(出芽率約85%：令和6年当JA試験結果)。
- ・コーティングは完全受託制のため**特別な技術習得を必要としません**。
- ・費用・労力削減を目指される方、労働力不足や次代への技術承継を課題に感じられている方、カラス等の鳥害や雑草問題が課題に感じられている方、他の作物生産に育苗作業が時期的に負担になっている方、“新規”で直播栽培に取り組みたい方等に特におすすめです。

■対応可能な品種

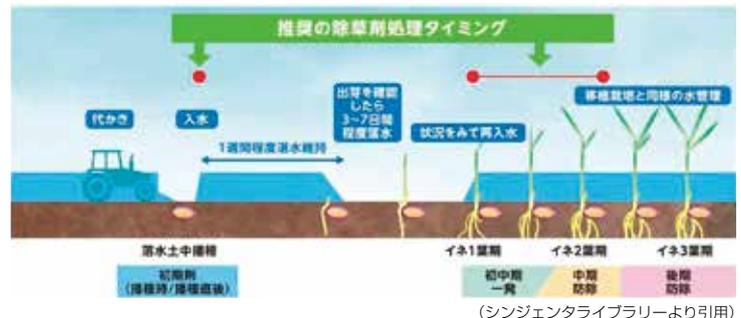
対応品種	施用量 (乾粉重)
コシヒカリ	2.0~2.5 kg/10a
キヌヒカリ 日本晴 きぬむすめ 吟おうみ	2.5~3.0 kg/10a

※上記5品種以外はコーティングできません。

※コシヒカリは倒伏の恐れから2.0kg程度推奨。

■管理方法

- ①乗用播種機(直播機)による**点播、条播**
- ②動力散粒機等による**散播**



■水管理方法に着目した従来技術との優位性

カルパーコーティングや鉄コーティングより、水管理、除草対策が容易になります。

リゾケアXLの初中期一発剤の散布適期延長効果 (シンジェンタライブラリーより引用)



<水管理の優位性>

- ・代かき後すぐでも播種が可能(トロトロで播種)。
- ・播種直後から湛水でき、**間断湛水の必要がなく、水管理が容易**です。
- ・播種後1週間湛水を維持し、出芽確認後3~7日程度無湛水にするだけ！以後は移植栽培と同様の水管理。

<雑草対策の優位性>

- ・播種直後の除草剤散布が可能。
 - ・初中期一発剤において、ノビエ葉齢に対する散布適期が鉄コーティングより延長できる効果があります。
 - ・湛水期間が長く、カラス等の鳥害抑制も可能です。
- ※カモ害の可能性のある地域は別途対策が必要です。

■移植栽培との比較試算表

	「リゾケアXL」ご使用の場合	「移植栽培」の場合
資材費	種籾代 800円	JA硬化苗購入代(枚) 814円
	コーティング代(乾粉重1kg当たり) 4,030円	
	播種量(乾粉重) 3kg 反当計 14,490円	苗の枚数/反 18枚 反当計(税込) 14,652円
人件費	1日作業面積 30反	1日作業面積 20反
	直播時人件費/日 10,000円	田植え時人件費/日 10,000円
	作業員の数 2人	作業員の数 3人
	反当計 667円	反当計 1,500円
合計	反当総費用 15,157円	反当総費用 16,152円

「反当995円の費用」と「人数・時間・重労働」軽減が期待可能！

※8条植田植機、直播機を想定しています。費用はすべて税込です。

■令和6年度栽培試験

☆八日市7件、永源寺6件、計28.2ha生産実績有。

令和6年産生産結果(八日市内)

品種	播種日	播種方法	玄米重量	同生産者移植収量比
コシヒカリ	4月28日	直播機(条播)	7.4俵/反	98%
				感想:移植とほぼ大差なかった。次年度も継続したい。
キヌヒカリ	4月28日	直播機(点播)	7.2俵/反	85%
				感想:すごい楽!来年は作付けを増やし、直播機も更新予定。

多くの生産者から継続して取り組みたい、実施面積を増やしたいとお声をいただいております。

ご興味のある方は、各営農振興センターまたはTACまでお問い合わせください。

良質な米づくりは土づくりから

目指せ!! すっきりした稲姿

良質米の生産は、土づくりからすでに勝負が始まっています。

近年、度重なる異常気象など気候変動の影響により、お米の収量・品質に対して大きな影響が出ています。また、水田の土壌は、温暖化の進行や田畑輪換栽培（水稻と麦大豆）により地力低下の傾向にあります。

土づくりにより、土壌の物理性、化学性および生物性が整い、**地力が向上して、水稻の安定生産や収量・品質の向上**に繋がるため、土づくりはもっとも重要です。

土づくり技術のポイント、「**有機物の施用**」、「**深耕**」、「**土づくり肥料の施用**」を実践し、異常気象などの気候変動に負けない良質米生産を目指しましょう。

土づくり

有機物の施用、深耕土づくり肥料の施用を実施しましょう。

育苗

薄播き、こまめな温度管理。ずんぐりとした太い苗を育てよう!

田植え

標準植えの実施。（早生品種）
1株3～4株を目標に、品種によって50～60株/坪
元肥は規定量を施肥。
緩効性肥料の使用で初期生育の過繁茂抑制。

中干し

中干しまでに倒伏防止と良食味米づくりにけい酸加里の施用をしましょう。

小さい分けつも含めて1株平均17～18本確認できれば遅れずに中干し実施!
適量追肥で穂肥前の体力維持を図ろう!

太茎づくり

穂肥・水管理

幼穂形成をまず確認!
適期に適量の穂肥を施用!
出穂期前後3週間は水を切らさない!
(カドミウム吸収抑制対策)

良品質米の出来上がり

乾燥・調製

急激な乾燥、高温での乾燥は胴割米の発生のもと!
1.9mm網目で調製して品質向上（粳混入にも注意）
作業前、品種変更時の清掃の徹底で、コンタミ防止。

収穫

適期刈り取りの確認（穂元に緑色粳が10～15パーセント残った時点）
落水時期はできるだけ遅らせる!
田面が白乾しそうならば、走水を実施!

防除

病害虫は耕種的防除と発生予察に基づく地域ぐるみの適正防除で品質向上!

畦畔草刈りは出穂3週間前頃と出穂期頃の2回実施

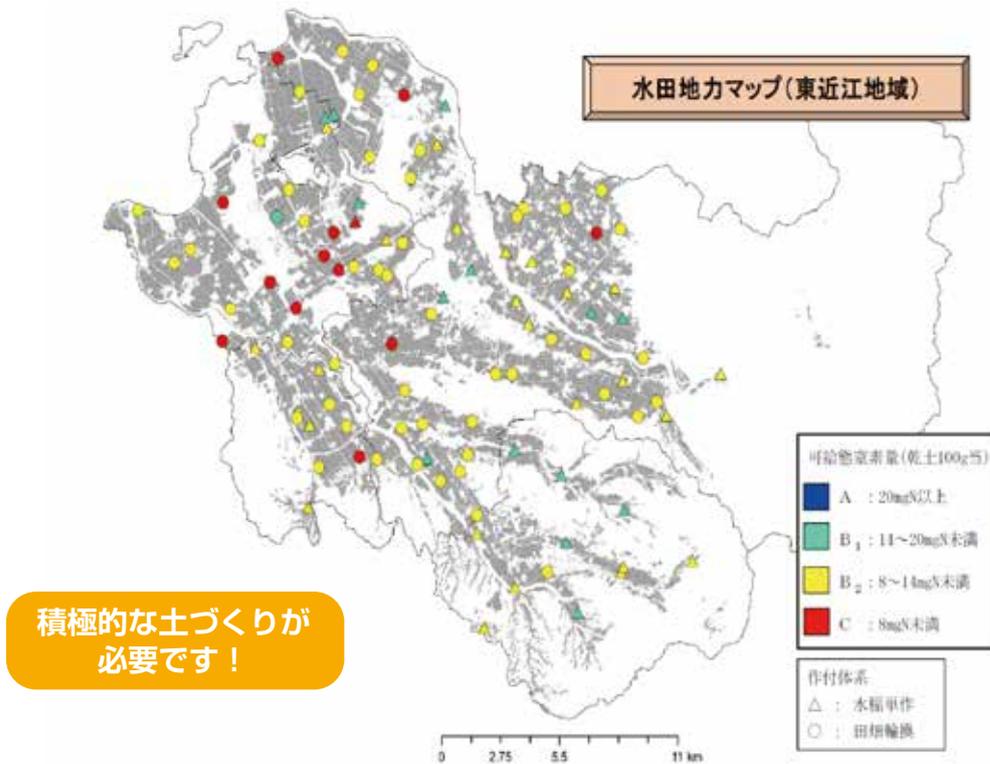


重要!! 気候変動対策（高温・低温・日照不足等）・良品質米生産は、土づくりが重要です。

※近年元肥一発型肥料が普及し、高温の気象が続くと穂肥時期や収穫直前に肥料切れのほ場が散見されます。ほ場を見て適切な施肥管理をお願い致します。

水田の地力の実態は

水田ほ場の地力（可給態窒素量）を調査された結果から、管内では、積極的な土づくりが必要なランク「B2」「C」が多くみられ、地力が低下しています。



土の力を最大限活かす！「水田土づくりマニュアル」
～CO2ネットゼロに向けて～（滋賀県 2022）より抜粋

土壌診断に応じた土づくりと施肥コスト削減

土づくりにより土壌中の養分状態を良好に保つ必要があります。そのためには、土壌の不足する養分と過剰な養分を把握する「**土壌診断**」が有効です。

診断結果に応じて適切な施用量に調整することで作物の品質や収量の向上につながるのももちろん、過剰な施肥を避けることでコスト低減も図れます。

土壌分析は、地域や集落ぐるみで実施しましょう!!

《土壌分析項目》

pH (酸度)	EC (電気伝導度)	りん酸吸収	りん酸 (有効態りん酸)	CEC (塩基置換容量)	石灰	苦土
加里	けい酸	酸化鉄	腐植	アンモニア態窒素	硝酸態窒素	

水稲分析項目：〈pH・EC・りん酸・石灰・苦土・加里・けい酸〉

※上記の土壌分析は、担い手農家は無償、一般農家は1サンプル1項目当たり250円（税別）

※お問い合わせは、TACまたは各営農振興センターまで

※分析結果（処方箋）の提供には時間（1ヶ月半程度）を要します。ご了承ください。

土壌分析を実施し、ほ場に応じた土づくり対策をしましょう！

土づくりのポイント① 有機物の施用

有機物の施用は、腐植が増加し土が耕しやすくなる、様々な養分がゆっくと現れ作物の栄養供給源となる、土中の微生物数が増加し蓄積されていた有機物の分解が促進される、などの効果により、収量の増加が期待できます。

水稻収穫後の稲わらはもちろんのこと、堆肥やヘアリーベッチ(緑肥)を活用し積極的に有機物を施用しましょう。

■堆肥の施用

牛ふん堆肥は、作物の三大栄養素である窒素・りん酸・加里がバランスよく含まれ、繊維質も多いため土壌改良成分として長期的に効果を発揮します。一方、鶏ふんは、牛ふん堆肥に比べ窒素含有比率が高く、化学肥料と同程度の肥料効果が見込めます。

堆肥の連年施用により、化学肥料の施用量削減も期待できます。施用する堆肥の特徴を踏まえ、土壌の状態や堆肥の窒素量等を十分考慮し、元肥量を調整し施用するようにしましょう。



有機物	施用量/10a	施用時期
牛ふん堆肥	1～2t	年内鋤き込み
鶏ふん	200～300kg	

※上記の堆肥を秋鋤込みした場合(単年施用)は、土壌にあわせて元肥量を調整してください。

■ヘアリーベッチ栽培(緑肥栽培)

ヘアリーベッチは、マメ科の緑肥作物で、肥料効果と土づくり効果が期待できます。

栽培は、10月に播種し、水稻の作付前に鋤き込みを行います。

生育は旺盛で、根粒菌による窒素固定を行い、8～12kg/10aの減肥ができ無肥料栽培も可能です。また、根の伸長による排水性改善や土壌の団粒化により土が柔らかくなる効果も期待できます。

- ・播種量 3～5kg/10a (均一に播種)
 - ・播種適期 湖辺・平坦 10月20日～30日
中山間 10月15日～25日
- ※今後の取組としてご紹介させていただきます。



土づくりのポイント② 深耕

土を深く耕すことで作土層が拡大し、根域を広げるとともに、土の保肥力を向上させ、根の動きを高め健全な稲を育てることに繋がります。

目標の深さ：15cm以上

令和5年産 品種：キヌヒカリ 収穫量：10俵/10a



土づくりのポイント③ 土づくり肥料の施用

水稻の生育に必要な養分として、炭素・水素・酸素・窒素・カリウム・カルシウム・マグネシウム・りん・硫黄で、その他に鉄・マンガン等が必要です。

お米の品質向上には、養分の補給が欠かせません。土づくり肥料の施用により、根の伸長を促すとともに、乳白粒や未熟粒の発生予防など安定した品質・収量を得ることが見込まれます。また、アルカリ分の補給により土壌pHを上げることで、カドミウムの吸収抑制にも効果があります。

特に、りん酸・けい酸は稲体を健全に生育させ病害虫に対する抵抗性も高まり、気候変動に負けない安定した米の生産が期待できます。

土壌診断を実施した結果から、土壌養分に応じた適切な土づくり肥料の施用を実施しましょう。

目標土壌酸度：pH6.5

■収穫後～4月まで

●稲わらの全量鋤き込みと有機堆肥の施用が肥持ちを向上●



『新ふりかけ堆肥eco』腐植酸が通常堆肥の約10倍				施用量(10aあたり)
				60~100kg
特性	<ul style="list-style-type: none"> ・粒状で機械散布ができます。 ・腐植酸によって発根を促進させ養分の吸収の促進が期待できます。 			

●けい酸投入で倒伏に強い稲体とカドミウム抑制●



『とれ太郎』けい酸の吸収利用率の高い資材				施用量(10aあたり)	
				80kg	
成分	<溶性りん酸	<溶性苦土	可溶性けい酸	アルカリ分	(酸化鉄)
	6%	12%	30%	40%	3%
特性	<ul style="list-style-type: none"> ・80kg施用でけい酸を24kg補給できます。 ・茎葉を丈夫にするので倒伏軽減に効果があり、登熟向上で粒張りが良くなり安定多収に効果があります。 ・りん酸・けい酸・苦土・石灰をバランス良く含んでいる総合的土づくり資材です。 				

●鉄が老朽化水田をリフレッシュ!! けい酸で稲体を強化●



『シリカサポート1号』ガス湧き抑制による活着促進、りん酸やけい酸との相乗効果で収量・品質向上!!				施用量(10aあたり)	
				80kg	
成分	<溶性りん酸	<溶性苦土	可溶性けい酸	アルカリ分	鉄(酸化鉄)
	3%	1%	20%	32%	10.8%(15.4%)
特性	<ul style="list-style-type: none"> ・実際の水田環境に近いpHで溶出しやすいけい酸(高溶出けい酸)を多く含み、稲に吸収されやすい資材です。 ・鉄がガス湧きや秋落ちを抑制します。 ・苗の活着を促し、登熟向上による品質や収量の向上が期待できます。 				

◎麦・大豆・野菜跡等の土づくりについて

麦・大豆・野菜などの田畑輪換を行うことで、地力は年々低下します。地力を維持・向上するためには、麦・大豆・野菜跡であっても、土づくり資材を継続して施用しましょう。

また、麦・大豆・野菜跡などの残渣については、しっかりと土に鋤き込むことで、有機物として利用し、土づくり肥料の施用とあわせて稲の養分吸収にうまく活用しましょう。

育苗期にバイオ資材投入と水稻生育期（中間追肥）の微量元素投入で『元気な稲』づくりをしましょう!!

■育苗期

～強いイネは苗づくりから～

水稻は「苗半作」と言われるほど苗づくりが重要です。
『ゆめバイオ』は“健康苗づくり”をお手伝いします。



方法	苗箱施用法	育苗時灌水法	浸種時浸漬法
施用量	培土量に対して資材5%	灌水量に対して資材5%	水量に対して資材10%
手順	苗箱にいずれかの方法で施用する ①種もみの上に施用 ②覆土に混和 ③床土に混和	ゆめバイオと水を混ぜ合わせ、懸濁水を育苗初期に灌水する	浸種に使用する水にゆめバイオを入れ、種もみと合わせて浸漬する（浸種期間：3日以上）
模式図			



ゆめバイオ施用から15日後根張り写真



施用効果（滋賀県）

【育苗時】

【移植後】

ゆめバイオの効果で、根張り向上!!

■田植え前～生育期間中（中間追肥）

●けい酸加里プレミア34投入で根の張り促進、品質、収量向上に最適●



『けい酸加里プレミア34』けい酸&加里の相乗効果で根の張り促進、品質、収量向上						施用量(10aあたり)
成分	＜溶性加里＞	可溶性けい酸	＜溶性苦土＞	＜溶性ほう素＞	施用時期	
	20%	34%	4%	0.1%	秋施用(散布後すぐ耕起)	40～60kg
					春施用(散布後すぐ耕起)	
特性	・倒伏に強くなります。 ・登熟が向上し、収量・品質・食味が向上します。 ・高温障害の軽減が期待できます。【クーラー効果】 ・けい化細胞が強化され、茎や葉が丈夫になります。					20kg

●畑のカルシウム投入で硫黄欠乏による初期生育抑制障害(病み田)対策に最適●



『畑のカルシウム』 水稻の硫黄欠乏による初期生育抑制障害(病み田)対策に最適！ 濁水発生軽減に最適！							施用量 (10aあたり)
成分	カルシウム	水溶性カルシウム	硫黄	水分	pH	施用時期	
	28.5%	26.3%	17%	0.6%	5.1%	代かき10～30日前	20～40kg
						代かき直後 追肥	
特性	・近年、硫黄欠乏による黄化症が確認されています。水稻の初期生育抑制障害(病み田)対策に最適な資材です。 ・代かき直後に散布することにより濁水発生を軽減することができます。(滋賀県農業技術振興センター実証済) ・根の張り・品質・収量が向上します。						

●美味しいお米づくり！生育旺盛!! 収量と品質向上に最適●



『マルチサポート2号』 吸収のしやすい苦土(マグネシウム)とけい酸で食味向上!! 生育向上!!									施用量 (10aあたり)	
成分 (*効果発現促進材) (**含有成分)	水溶性苦土	水溶性マンガン	水溶性ほう素	銅*	亜鉛*	全けい酸**	鉄**	硫黄** (計算値)		
	12%	0.2%	0.2%	0.02%	0.05%	約20%	約3%	約10%	春散布(代かき前まで)	40～60kg
									田植え後(10～20日後目安)	20～40kg
特性	・主成分である苦土(マグネシウム)やけい酸により、初期生育や根張りが向上し高温登熟や日照不足に負けない強い稲につながります。 ・吸収しやすい苦土と含有成分のけい酸により、タンパク含量を抑えられた甘みのある美味しいお米につながります。 ・硫黄を含んでおり、近年見られる硫黄欠乏による初期生育抑制障害(病み田)対策としても使用できます。									

増えています「カメムシ被害」

◆カメムシ被害の発生しやすい条件

- ①夏の降水量が少なく、梅雨明けが早い高温少雨条件でカメムシの活動は活発となります。
- ②暖冬の年は、越冬量が多く発生が増えます。
- ③周辺ほ場より出穂が早い、または遅いと被害が集中します。
- ④周辺に休耕田が多く、畦畔にも雑草が繁茂しているとカメムシの繁殖地となります。
- ⑤ほ場内にイネ科雑草が多いと、稲より早く出穂する雑草があり、早い段階からほ場内にカメムシを呼び込むこととなります。



◆管内で被害をもたらす主なカメムシの種類

- ①**ホソハリカメムシ** 稲への選好性が高く、ほ場内でも増殖します。成虫・幼虫ともに吸汁能力は高く、被害痕は大型です。
- ②**アカスジカスミカメ** 飛翔力は弱く、長距離移動はしないがほ場中央部まで飛翔して移動ができる。吸汁能力は低いが、多発時は被害が大きいです。
- ③**クモヘリカメムシ** 飛翔能力が高く、稲への選好性が高く、ほ場内でも増殖する。成虫・幼虫ともに吸汁能力は高い。



①ホソハリカメムシ



②アカスジカスミカメ



③クモヘリカメムシ

◆近年発生が目立つ大型カメムシ類

- ④**イネカメムシ** 稲を強く好み、成虫が出穂期に集中加害（吸汁能力が非常に高い）出穂期（不稔米予防）と乳熟期（斑点米予防）に2回防除を行うと防除効果が高い。
※乳熟期・・・出穂期+8日頃
- ⑤**ミナミアオカメムシ** 飛翔能力が高く吸汁能力が非常に高い。若齢幼虫はまとまっていることが多く、加害する作物も多い。



④イネカメムシ



⑤ミナミアオカメムシ
(若齢幼虫)



⑤ミナミアオカメムシ



④イネカメムシ

**特別栽培米はジノテフラン
(スタークル)1回のみ**

斑点米カメムシ防除は出穂後2回防除が効果的!!

	穂ばらみ期	出穂期	穂揃期	1回目		乳熟期	2回目
出穂前後 日数	5~10日前	出穂期	4日目	7日目	9日目	11日目	14~17日目
	↑ キラップ 粒剤散布適期		↑ スタークル 粒剤散布適期	↑ キラップ粉剤 液剤散布適期			↑ スタークル粉剤 液剤散布適期

- 注意① 粒剤の殺虫剤は、粉剤・液剤に比べ散布適期が早いです。
- 注意② 「スタークル」は本田3回まで「キラップ」は本田2回まで使用ができます。
- 注意③ 「スタークル」は収穫7日前まで「キラップ」は収穫14日前まで使用ができます。
- 注意④ 粒剤だけでは効果が劣るので、粉剤・液剤散布も検討する。

◇JAグリーン近江統一版 特別栽培米『みずかがみ』 推奨ガイドライン◇

滋賀県一の『みずかがみ』産地へ・・・特A産地をめざす!!

JAグリーン近江管内は、県内最大の『みずかがみ』の産地です。JAグリーン近江では、農家組合員のみなさまの努力が販売価格に反映されるような制度を拡充しています。実需者から求められるおいしい良質米『みずかがみ』の安定供給をめざして共にごんばりましょう。

※『みずかがみ』栽培のポイント

- ・収量・品質を安定するには、穂数(茎数)を確保することが最も大切です。
- ・還元障害(病み田)対策を行い、初期の生育をしっかりと確保することが重要です。(初期生育が悪いと収量・品質に大きく影響します)
- ・JAグリーン近江管内において、土質(粘質土、砂質土、黒ボク土など)や地帯(湖辺・平坦・山間)によって生育が異なるのでほ場に応じた施肥管理を行いましょう。(麦・大豆・野菜跡の畑作輪換ほ場に応じた施肥設計も同様です)
- ・気候変動に対応するため葉色診断に基づく施肥を実施することが重要です。

田植え時期・栽植密度
田植えは、4月末～5月上旬に行い、遅れないようにしましょう。
・湖辺：60株/坪
・平坦：60～70株/坪
・山間：70株/坪

『みずかがみ』特別栽培米農薬統一基準

項目	種子消毒	殺虫殺菌箱施用剤	除草剤			殺虫本田防除剤
			①初中期一発剤	②ヒエが残った場合	③広葉雑草が残った場合	
指定農薬成分名	—	シアントラニプロロール トルプロカルブ	イプフェンカルバゾン テフリルトリオン	シハロホップブチル	ペンタゾンナトリウム塩	ジノテフラン
成分数	0	2	2	1	1	1
JA推奨農薬名 使用量 (10aあたり)	温湯 消毒	ツインキック箱粒剤 50g/箱	キマリテ1キロ粒剤	クリンチャー1キロ粒剤	バサグラン粒剤	スタークル粉剤DL
			1kg/10a	1～1.5kg/10a	3～4kg/10a	3kg/10a
			キマリテジャンボ	クリンチャージャンボ	バサグラン液剤	スタークル粒剤
			10個(300g)/10a	20～30個/10a	500～700ml/10a	3kg/10a
			キマリテフロアブル	クリンチャーEW	—	スタークル豆つぶ
500ml/10a	100ml/10a	—	250g/10a			
使用回数	—	1回	1回	1回	1回	1回

ばか苗が毎年気になる場合・・・

種子消毒：ばか苗対策 エコホープDJ 微生物農薬(農薬カウント0成分) チラシ参照 (温湯消毒+エコホープDJ)

エコホープDJは、微生物農薬で使用期限が短い薬剤ですので、次年度へ持ち越さないようにお願いいたします。

※ 注意 ※ 特別栽培米の基準は、各環境こだわり米部会の環境こだわり栽培認証を受けられる栽培を基準としますが、合計農薬成分数が7成分以内であっても上記の農薬成分以外を使用した場合はJAグリーン近江統一版の特別栽培米となりません。
※すでに結びつきのある部会の独自取組は特別栽培米扱いといたします。

『みずかがみ』施肥設計(ほ場に応じた土づくり・肥料・微量要素を施用しましょう)

時期	肥料名	施用量(10aあたり)	備考
土づくり	牛ふん堆肥	1～2 t	有機物の施用
	新ふりかけ堆肥eco	60～100kg	
	とれ太郎	80kg	選 択
	シリカサポート1号	80kg	
還元障害対策(病み田対策)	けい酸加里プレミア34	40～60kg	代かき前(10～30日前)又は田植え後
元 肥 又は 中間追肥(出穂35～40日前)	畑のカルシウム	20～40kg	選 択
	けい酸加里プレミア34	20kg	
	マルチサポート2号	20～40kg	

《元肥一発型(推奨)》

※取組①(緩効性肥料の利用及び長期中干し) 令和6年取組

地 帯	肥 料 名	施用量(10aあたり)	大豆跡の施用量(10aあたり)
生育後半の肥持ちの良い水田 (粘質土、永源寺、日野、大中など)	みずかがみ基肥一発 13-5-5	60kg	30～50kg
生育後半の肥持ちの悪い水田 (砂質土、黒ボク土、湖辺など)	楽すけ 13-5-5	60kg	
NEW 環境保全型農業直接支払交付金 取組メニュー①対象肥料	UF入り有機化成355(早生用) 13-5-5	60kg	

《分施肥(推奨)》

時期	肥料名	施用量(10aあたり)	大豆跡等の施用量(10aあたり)
元 肥	滋賀こだわり元肥ハーフコート344 13-4-4	30～35kg	20～25kg
穂 肥	滋賀こだわり穂肥ハーフコート306 13-0-6	25kg	20～25kg
NEW 元肥(取組メニュー①対象肥料)	ハーフUF355基肥	30kg	20～25kg
NEW 穂肥(取組メニュー①対象肥料)	ハーフUF306穂肥	30kg	20～25kg

《収量・品質向上対策》

6月中旬頃の茎数が25本/株を下回ったほ場では、追肥を施用することでタンパクを上げることなく収量の向上を期待できるのでお勧めします。施肥時期：6月中旬 窒素施肥量：2kg/10a程度 参考肥料：滋賀こだわり元肥855 20～25kg/10a

◇JAグリーン近江統一版 特別栽培米『コシヒカリ』・『秋の詩』 推奨ガイドライン◇

『コシヒカリ』・『秋の詩』特別栽培米農薬統一基準

項目	種子消毒	殺虫殺菌 箱施用剤	除草剤			殺虫 本田防除剤
			①初中期一発剤	②ヒエが残った場合	③広葉雑草が残った場合	
指定農薬成分名	—	シアントラニプロール トルプロカルブ	イブフェンカルバゾン テフリルトリオン	シハロホップブチル	ペンタゾンナトリウム塩	ジノテフラン
成分数	0	2	2	1	1	1
JA推奨農薬名 使用量 (10aあたり)	温湯 消毒	ツインキック箱粒剤 50g/箱	キマリテ1キロ粒剤	クリンチャー1キロ粒剤	バサグラン粒剤	スタークル粉剤DL
			1kg/10a	1~1.5kg/10a	3~4kg/10a	3kg/10a
			キマリテジャンボ	クリンチャージャンボ	バサグラン液剤	スタークル粒剤
			10個(300g)/10a	20~30個/10a	500~700ml/10a	3kg/10a
			キマリテフロアブル	クリンチャーEW	—	スタークル豆つぶ
500ml/10a	100ml/10a	—	250g/10a			
—	—	—	—	—	スタークル液剤10 散布1000倍 無人航空機8倍	
使用回数	—	1回	1回	1回	1回	1回

ばか苗が毎年気になる場合・・・

種子消毒：ばか苗病対策 エコホープDJ 微生物農薬（農薬カウント0成分） チラシ参照（温湯消毒+エコホープDJ）
エコホープDJは、微生物農薬で使用期限が短い薬剤ですので、次年度へ持ち越さないようにお願いいたします。

※ 注意 ※ 特別栽培米の基準は、各環境こだわり米部会の環境こだわり栽培認証を受けられる栽培を基準としますが、合計農薬成分数が7成分以内であっても上記の農薬成分以外を使用した場合はJAグリーン近江統一版の特別栽培米となりません。
※すでに結びつきのある部会の独自取組は特別栽培米扱いといたします。

『コシヒカリ』・『秋の詩』施肥設計(ほ場に応じた土づくり・肥料・微量要素を施用しましょう)

時期	肥料名	使用量 (10aあたり)	備考
土づくり	牛ふん堆肥	1~2 t	有機物の施用
	新ふりかけ堆肥eco	60~100kg	
	とれ太郎	80kg	選 択
	シリカサポート1号	80kg	
	けい酸加里プレミア34	40~60kg	
還元障害対策（病み田対策）	畑のカルシウム	20~40kg	代かき前(10~30日前)又は田植え後
元 肥 又は 中間追肥（出穂35~40日前）	けい酸加里プレミア34	20kg	選 択
	マルチサポート2号	20~40kg	

《元肥一発型(推奨)》

※取組①(緩効性肥料の利用及び長期中干し) 令和6年取組

品種名	肥料名	使用量 (10aあたり)	大豆跡等の使用量 (10aあたり)
コシヒカリ	楽すけ 13-5-5	40~50kg	30~45kg
NEW 取組メニュー①対象肥料	UF入り有機化成355 (早生用) 13-5-5	50~60kg	30~45kg
秋の詩	有機入りセラコートR355 13-5-5	55~60kg	35~50kg
NEW 取組メニュー①対象肥料	UF入り有機化成355 (中晩生用) 13-5-5	60kg	35~50kg

《分施肥(推奨)》

時期	肥料名	コシヒカリ		秋の詩	
		使用量 (10aあたり)	大豆跡の使用量 (10aあたり)	使用量 (10aあたり)	大豆跡の使用量 (10aあたり)
元 肥	滋賀こだわり元肥ハーフコート344 13-4-4	20~25kg	15~20kg	25~30kg	20~25kg
穂 肥	滋賀こだわり穂肥ハーフコート306 13-0-6	25~30kg	20~25kg	25~30kg	20~25kg
NEW 取組メニュー①対象肥料	ハーフUF355基肥	25~30kg	25~30kg	25~30kg	25~30kg
NEW 取組メニュー①対象肥料	ハーフUF306穂肥	30kg	30kg	30kg	30kg

《異常高温対策》

葉色が薄いほ場の場合（出穂期頃の葉色5以下の場合）生育維持（外観品質低下抑制）のため、追加施肥（止葉期追肥）をお勧めします。

施肥時期：止葉期～穂揃期まで

窒素施肥量：2kg/10a程度

参考肥料：滋賀こだわり元肥855 20~25kg/10a

◇一般栽培米 ガイドライン◇

土づくり	病み田対策 (代かき10~30日前) 又は(田植え後)	中間追肥 (出穂35~40日前)	種子消毒	育苗土壌消毒	除草剤 (3成分)
牛ふん堆肥 新ふりかけ堆肥eco とれ太郎 シリカサポート1号 けい酸加里プレミア34	畑のカルシウム	けい酸加里プレミア34 又は マルチサポート2号	温湯消毒又は テクリードCフロアブル + スミチオン乳剤	ナエファイン粉剤 又は ナエファインフロアブル	カイリキZ1キロ粒剤 カイリキZフロアブル カイリキZジャンボ

《元肥一発型(推奨)》

(10aあたり)

肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩	滋賀羽二重糯
これいいね(早生用)27-7-10	30kg	40~50kg	—	—	—	—
すご稲(早生用)25-10-10	30kg	40~50kg	—	—	—	—
これいいね(中晩生用)27-7-10	30kg	40~50kg	40~50kg	50kg	35kg	30kg
すご稲(中晩生用)25-10-10	30kg	40~50kg	40~50kg	50kg	30kg	30kg
全窒素合計	8kg	10~13kg	10~13kg	13kg	8~10kg	7~8kg

※「コシヒカリ」・「キヌヒカリ」を初期の分けつの悪い地帯や肥持ちの悪い地帯で栽培する場合は、早生用をご使用ください。

※「コシヒカリ」・「キヌヒカリ」を5月上旬田植えや肥持ちの悪い地帯で栽培する場合は、中晩生用をご使用ください。

《省力施肥型(推奨)》

(10aあたり)

時期	肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩	滋賀羽二重糯
元肥	ニューコートビッグパワー元肥 20-10-10	15kg	30kg	30kg	30kg	20kg	15kg
穂肥	コートビッグパワー穂肥 18-3-10	20kg	25kg	25kg	25kg	20kg	20kg
全窒素合計		7kg	11kg	11kg	11kg	8kg	7kg

※「コシヒカリ」・「秋の詩」・「滋賀羽二重糯」1回目の穂肥は出穂18日前、その他品種は出穂25日前です。

《施肥型(推奨)》

(10aあたり)

時期	肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩	滋賀羽二重糯
元肥	国産化成肥料444 14-14-14	15kg	30~40kg	40kg	40kg	15kg	15kg
追肥	国産化成肥料444 14-14-14	10kg	15kg	20kg	15kg	15kg	10kg
穂肥①	化成肥料201 20-0-10	10kg	15~20kg	20kg	20kg	10kg	10kg
穂肥②	化成肥料201 20-0-10	10kg	10kg	10kg	10kg	10kg	10kg
全窒素合計		8kg	11~14kg	14kg	14kg	8kg	8kg

※「コシヒカリ」・「キヌヒカリ」の追肥は6月5~10日頃に施用、その他品種の追肥は6月20日頃です。

※「コシヒカリ」・「秋の詩」・「滋賀羽二重糯」1回目の穂肥は出穂18日前・2回目は出穂11日前、その他品種の穂肥は出穂25日前です。

《大豆跡等の元肥一発型(推奨)》

(10aあたり)

肥料名	コシヒカリ	キヌヒカリ	日本晴	ゆめおうみ	秋の詩
新豆あと一発(早生用) 18-12-12	30kg	40kg	—	—	—
新豆あと一発(中晩生用) 18-12-12	—	40kg	40kg	40kg	35kg
全窒素合計	5kg	7kg	7kg	7kg	6kg

《異常高温対策》

葉色が薄いほ場の場合(出穂期頃の葉色5以下の場合)生育維持(外観品質低下抑制)のため追加施肥(止葉期追肥)をお勧めします。

施肥時期: 止葉期~穂前期まで

窒素施肥量: 2kg/10a程度

参考肥料: 硫安10kg/10a 尿素5kg/10a 化成肥料201 10kg/10a

※各施肥の設計は参考にして頂き、土質と天候と管理によって倒伏する場合があります。

《元肥一発型肥料 使用上の注意》

- 肥沃土では、1割程度控えめに施用してください。
- 山間地では、幾分多めに施用してください。
- 強い衝撃や摩擦により被覆肥料の被膜が損傷し溶出が早まる恐れがあるので注意してください。
- 元肥一発型肥料を使った水稻の生育過程は、従来、慣行施肥とも多少異なる場合がありますので、心配がある場合はJAまたは、東近江農業農村振興事務所農産普及課にご相談ください。
- ほ場条件等を考慮して施肥量を決めてください。
- 側条施肥については、田植え前に必ず施肥量を確認し、使用中にも定期的に確認してください。

田畑輪換田の注意事項

野菜・大豆跡の復元田(復元初年目)においては、前作の残存養分の影響が大きいため水稲栽培には以下のような注意が必要です。

倒伏を防止するための対策として、4cm前後のやや深植や活着後の浅水が有効です。

1. 施肥量の調節

水田を畑(転作)として活用すると、土壌は酸化状態となりこれまで分解されなかった有機物が微生物の働きで分解され、可給態窒素量が増加されます。

水稲を作付けした場合の肥料の削減割合は、畑作期間に応じて施肥量を削減してください。

(例) 麦一大豆跡、野菜跡

元肥窒素量: 転換期間1年の場合は、稲作初年度慣行の半量程度、2年目以降慣行

畑作期間2年の場合は、稲作初年度半量以下、2年目以降慣行

3年以上の場合は、稲作初年度無窒素、2年目半量、3年目以降慣行

穂肥窒素量: 葉色板数値(日本晴基準)4.5以上で穂肥省略

一般栽培では、「新豆あと一発」を使用してください。

種子消毒

温湯消毒	種籾は60～62℃の温湯に10分間浸漬した後、直ちに流水中で冷却する。 浸種の水は1～2日毎に交換し雑菌繁殖を防止しましょう。 温湯消毒後に種子水分が高いままで高温や高湿度条件下で保管すると、発芽不良やばか苗の発生原因になります。
------	---

品名	容量	病虫害	濃度	時間	備考
エコホープDJ (微生物農薬) (特栽米 (環境こだわり米) 使用可)	500g	ばか苗・いもち病・苗立枯病	200倍 (水10ℓに50g)	24～48時間	浸種前～催芽前
テクリードCフロアブル	100ml	ばか苗・いもち病・籾枯細菌	200倍 (水10ℓに50ml)	24時間	種子8kgあたり10ℓ必要
スミチオン乳剤	100ml	イネシンガレセンチュウ	1,000倍 (水10ℓに10ml)		

※エコホープDJは、微生物農薬で使用期限が短いため、次年度へ持ち越さないようお願いいたします。

※同じ薬液を3回以上使用しないでください。(効果が極端に減少します)

育苗培土

	品名	容量	1袋あたり
床土	クリーン培土2号(寒)	20kg	10枚
	びわこ2号育苗培土	20kg	6枚
	びわこ3号育苗培土(ハイフミン入り)	20kg	7枚
覆土	クリーン培土2号(寒)	20kg	16枚
	びわこ1号育苗培土(肥料なし)	20kg	20枚

水稻肥料成分表

●特別栽培米用

(単位：%)

	肥料名	比重	窒素			りん酸	加里	苦土
			全窒素	内有機態窒素	内緩効性窒素			
元肥一発型	みずかかみ基肥一発	0.75	13	6.7	4.1	5	5	—
	楽すけ(早生)	0.75	13	6.7	5.2	5	5	—
	UF入り有機化成355(早生用)	0.70～0.75	13	6.5	4.9	5	5	—
	有機入りセラコートR355(中晩生)	0.75	13	6.7	5.2	5	5	—
	UF入り有機化成355(中晩生用)	0.70～0.75	13	6.5	4.8	5	5	—
元肥	滋賀こだわり元肥 HALFコート344	0.72	13	6.8	4.0	4	4	—
	HALF UF355基肥	0.70～0.75	13	6.5	5.3	5	5	—
	滋賀こだわり元肥855	0.75	8	8.0	—	5	5	1
	有機アグレット674	0.74	6	6.0	—	7	4	—
穂肥	滋賀こだわり穂肥 HALFコート306	0.70	13	6.7	4.0	—	6	1.5
	HALF UF306穂肥	0.70～0.75	13	6.5	4.2	—	6	—
	有機アグレット727	0.72	7	7.0	—	2	7	—

●通常米元肥一発肥料

(単位：%)

	肥料名	比重	窒素			りん酸	加里	苦土
			全窒素	内有機態窒素	内緩効性窒素			
省力(早生)	これいいね(早生用)	0.78	27	—	17.5	7	10	—
省力(中晩生)	これいいね(中晩生用)	0.78	27	—	17.5	7	10	—
省力(早生)	すご稲N25(早生用)	0.82	25	—	15.0	10	10	—
省力(中晩生)	すご稲N25(中晩生用)	0.82	25	—	15.0	10	10	—
省力(早生)	新豆あと一発(早生用)	0.87	18	—	13.9	12	12	—
省力(中晩生)	新豆あと一発(中晩生用)	0.87	18	—	13.9	12	12	—

●通常米栽培用

(単位：%)

	肥料名	比重	窒素			りん酸	加里	苦土
			全窒素	内有機態窒素	内緩効性窒素			
元肥・追肥	国産化成肥料444	0.85	14	—	—	14	14	—
	ニュー有機ビッグパワー(元肥・追肥)	0.80	14	2.6	—	8	10	—
	ニューコートビッグパワー(元肥)	0.82	20	—	10.0	10	10	—
	有機アグレット674	0.74	6	6.0	—	7	4	—
	ネオペースト1号	1.35	12	—	—	12	12	—
	けい酸加里プレミアム34	0.90	—	—	—	ケイ酸・34	20	4
穂肥	化成肥料201	0.78	20	—	—	0	10	—
	有機ビッグパワー(穂肥)	0.78	15	1.9	—	4	12	3
	コートビッグパワー(穂肥)	0.83	18	—	5.4	3	10	3
	有機アグレット727	0.72	7	7.0	—	2	7	—

(肥料の比重により施肥量が異なりますので、使用される施肥田植機の仕様書をご確認ください。)

水稲用肥料商品一覧

土づくり資材



とれ太郎 新ふりかけ堆肥eco シリカサポート1号

育苗資材



クリーン培土2号(寒地) びわこ培土 1号2号3号

元肥一発肥料



楽すけ みずかがみ基肥一発 有機入りセトトR355 これいいね (早生・中晩生用) すご稲N25 (早生・中晩生用) 新豆あと一発 UF入り有機化成355 (早生・中晩生用)

元肥・追肥



国産化成肥料14-14-14 滋賀こだわりハーフコート344 ニュー有機ビッグパワー ニューコートビッグパワー ハーフUF355 (new) ネオペースト1号

穂肥



化成肥料20-0-10 滋賀こだわりハーフコート306 有機ビッグパワー コートビッグパワー ハーフUF306 (new)

品質向上対策



けい酸加里プレミア34 マルチサポート2号

水稲用農薬商品一覧

種子消毒剤・育苗剤



ナエファイン
粉剤



ナエファイン
フロアブル

箱施用剤

特裁



ツインキック
箱粒剤



箱いり娘
粒剤

new



ブーンアレス
箱粒剤

初期除草剤



メテオ
ジャンボ



メテオ
1キロ粒剤



メテオ
フロアブル



バレージ
粒剤

一発処理除草剤

特裁



キマリテシリーズ



トップガンRシリーズ

new



new



カイリキZシリーズ



ジェイソウルシリーズ



サキガケ楽粒

中期・中後期除草剤



セカンドショット
SジャンボMX



サンパンチ
1キロ粒剤



クリンチャー
1キロ粒剤



バサグラン
粒剤



バイスコープ
1キロ粒剤



ロイヤント
乳剤

初中期一発除草剤の特徴



初・中一発除草剤
ユニューアル

4成分配合の安定した効き目！

4成分で一年生雑草から多年生雑草まで幅広く安定した効果を実現。
ロングセラーの除草剤、トップガンの最新シリーズ。

<4成分>

・プロモブチド・ベンスルフロンメチル・ペントキサゾン・ピリミノバックメチル



カイキズ

ヒエ・ノビエに困ったらこの商品！

ノビエに対し長期残効性があり、長期間に渡り発生を抑える。
オモダカ、クログワイ等の難防除雑草にも高い効果を発揮。

<3成分>

・テフリルトリオン・イブフェンカルバゾン・プロピリスルフロン



シエンカール

イボクサ等の畦畔侵入雑草対策に！

サイラとピラゾレートの相乗効果で、従来の薬剤に抵抗性をもったオモダカ、
コナギ、イボクサに高い効果を発揮。

強力な白化作用により、効果発現が目に見て確認できる。

<3成分>

・シクロピリモレート(サイラ)・ピラゾレート・フェントラザミド

中後期除草剤の特徴



ビースコープ

強力な白化作用で高葉齢の
雑草にも高い効果を発揮！

オモダカ、コナギ、ミズアオイに対して特に高い効果を発揮。
イボクサやクサネム等にも効果があり、湛水散布も可能。

<2成分>

・テフリルトリオン・シクロピリモレート(サイラ)



ロイヤント™ 乳剤

Rinskor™ active

散布適期が長く、生育の進んだ
雑草を取りこぼさない！

1成分でノビエをはじめとする水田一年生雑草、ウリカワ、ミズガヤツリ等の
多年生雑草のほか、クサネム、イボクサにも優れた効果を発揮。

<1成分>

・フロルピラウキシフェンベンジル(リンズコア)

楽粒の使い方



サキガケ 楽粒 楽しんで楽しく省力散布！

水流、対流、自然の風などを利用して水田の隅々まで薬剤を拡散させる。
水田に入らず畦畔からの省力散布も可能。

<3成分>

・イプフェンカルバゾン・テフリルトリオン・フロルピラウキシフェンベンジル

様々な散布方法に対応



袋のまま



計量カップ



水口施用

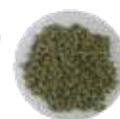


動力散布機



無人航空機

楽粒の外観は一般的な1キロ粒剤より大きくなっています。
粒の形をあえて不揃いにする事で、有効成分が水田の隅々まで広がるように設計されています。



1kg粒剤



楽粒



上手な使い方

(動画時間:6分56秒)



箱施用剤の特徴



ツインキック いもち病に効果抜群！

トルプロカルブ配合でいもち病菌を強力にブロック。

葉いもちから穂いもちまでしっかり防除。

<2成分>

・シアントラニリプロール・トルプロカルブ



箱いり娘 紋枯病に効果抜群！

紋枯れ病に効果の高いフラメトピルを配合。

幅広い病害虫に対応した箱施用剤。

<4成分>

・クロチアニジン・スピネトラム・イソチアニル・フラメトピル



ブーンアレス ウンカ類に効果抜群！

新規の殺菌成分・殺虫成分の配合。

イネ縞葉枯病の原因となるヒメトピウンカにも高い効果を発揮。

<2成分>

・オキサソスルフィル (アレス) ・ジクロベンチアゾクス (ブーン)

雑草防除体系

初中期一発型

農薬の登録内容は、令和6年9月現在の登録内容となっています。

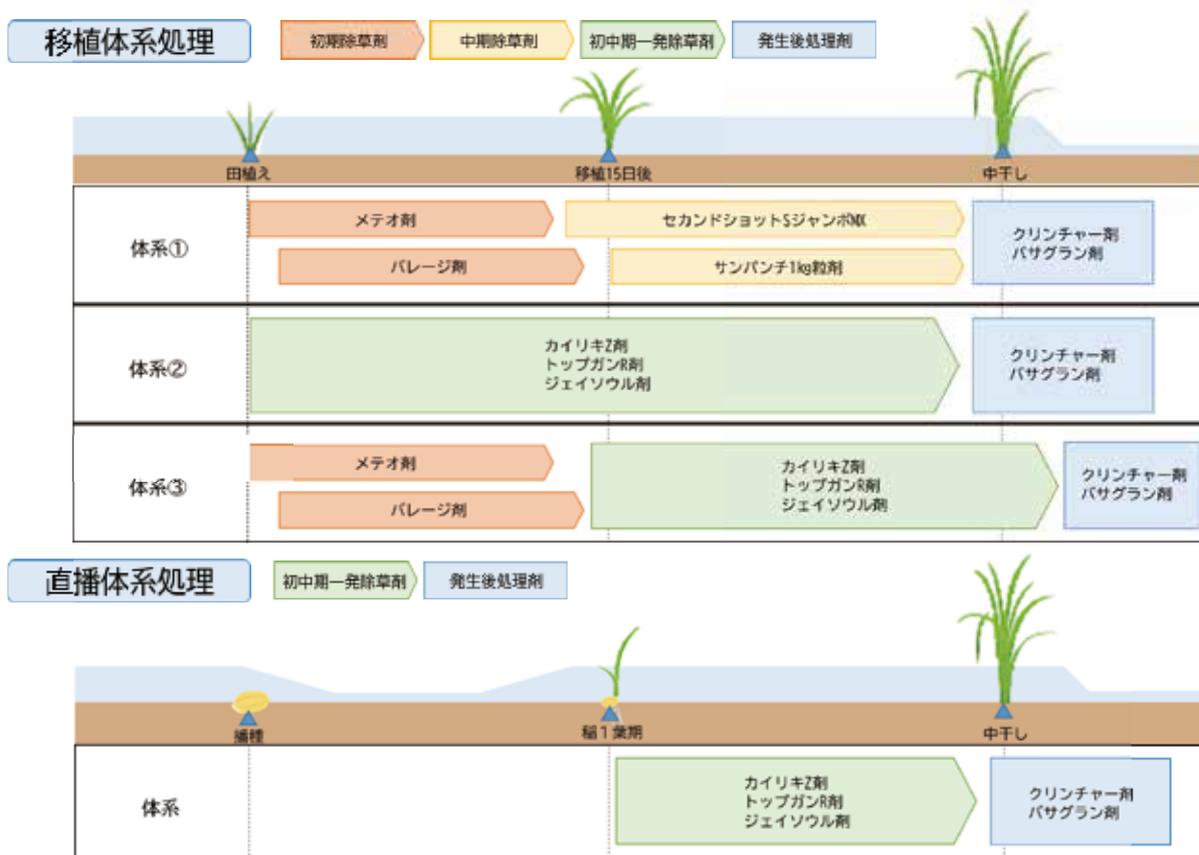
※ 移植時・・・田植え同時使用が可能です。

薬剤名(剤型)		散布量/10a	使用時期	ノビエ葉期
ジャンボ剤	キマリテジャンボ	30g×10個	移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	トップガンRジャンボ	25g×10個	移植直後～移植後30日まで	2.5葉期まで
	カイリキZジャンボ	30g×10個	移植後3日～移植後30日まで	3.0葉期まで
	ジェイソウルジャンボ	45g×10個	移植後1日～移植後30日まで	2.5葉期まで
フロアブル剤	キマリテフロアブル	500ml	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	トップガンRフロアブル	500ml	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	カイリキZフロアブル	500ml	移植後3日～移植後30日まで	3.0葉期まで
	ジェイソウルフロアブル	500ml	移植時・移植直後～移植後30日まで	2.5葉期まで
粒剤	キマリテ1キロ粒剤	1kg	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	トップガンR1キロ粒剤	1kg	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	カイリキZ1キロ粒剤	1kg	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで
	ジェイソウル1キロ粒剤	1kg	移植時・移植直後～移植後30日まで	2.5葉期まで
NEW 拡散剤	サキガケ薬粒	250g	移植時・移植直後～移植後30日まで	3.0葉期まで

毎年雑草がひどくてお困りの場合は、**体系処理**をオススメします！

体系処理とは… 初期剤や初中期一発剤と中後期剤を組み合わせることで散布する方法です。

初期剤、初中期一発剤散布後、中後期剤を散布することで除草剤効果を持続させ、難防除雑草を処理します。
クリンチャー剤やバサグラン剤については、後次雑草の発生が確認された場合のレスキュー剤としてご使用ください。



○農薬の登録内容はメーカー間により違いや変更がありますので、農薬の使用に当たっては必ずラベルを確認して使ってください。
○雑草名や農薬使用に当たり不明な点がございましたら各営農振興センターに相談してください。

除草剤の特徴

令和6年9月現在の登録内容です。

区分	剤型	薬剤名	成分数	初期・初中期一発除草剤														
				1年生雑草			多年生雑草							アミド 藻類 表層剥離	移植 時	湛水 直播	ノビエ葉期	
				ノビエ	コナギ	広葉	マツバ	オモダカ	ウリカワ	ホタルイ	ミスカ ヤツリ	クログ ワイ	セリ					
初期 剤	ジャンボ剤	メテオジャンボ	1	◎	◎	◎	○	×	×	○	×	×	×	—	×	×	1.0葉期まで	
	フロアブル剤	メテオフロアブル	1	◎	◎	◎	○	×	×	○	×	○	×	—	○	×	1.0葉期まで	
	粒剤	メテオ1キロ粒剤	1	◎	◎	◎	○	×	×	○	×	○	×	—	○	×	1.0葉期まで	
		バレージ粒剤	2	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	×	×	1.5葉期まで	
一 発 剤	ジャンボ剤	キマリテジャンボ	2	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	—	×	◎	3.0葉期まで	
		サラブレッドGOジャンボ	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	×	◎*	2.5葉期まで	
		トップガンRジャンボ	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	×	◎	2.5葉期まで	
		カイリキZジャンボ	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	◎	3.0葉期まで	
		ジェイソウルジャンボ	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	○	×	◎	2.5葉期まで
		ディオレージャンボ	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	◎	3.0葉期まで	
	フロアブル剤	キマリテフロアブル	2	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	○	◎	3.0葉期まで	
		トップガンRフロアブル	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	3.0葉期まで	
		カイリキZフロアブル	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	◎	3.0葉期まで	
		ジェイソウルフロアブル	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	○	◎	2.5葉期まで	
	粒剤	キマリテ1キロ粒剤	2	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	—	○	◎	3.0葉期まで	
		サラブレッドG01キロ粒剤	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	○	◎*	2.5葉期まで		
		トップガンR1キロ粒剤	4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	3.0葉期まで	
		カイリキZ1キロ粒剤	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	3.0葉期まで	
		ジェイソウル1キロ粒剤	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	◎	2.5葉期まで	
		ディオレー1キロ粒剤	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	○	◎	3.0葉期まで	
	拡散剤	サキガケ薬粒	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	—	×	◎	3.0葉期まで

*土中播種の場合は稲1葉期～ノビエ2.5葉期まで◎、表面播種の場合は根の露出による薬害リスクがあるため×

区分	剤型	薬剤名	成分数	中期・後期除草剤											湛水 直播	ノビエ葉期	
				1年生雑草					多年生雑草								
				ノビエ	コナギ	広葉	イボ クサ	ヒレタ ゴボウ	クサ ネム	ホタル イ	ミスカ ヤツリ	クログ ワイ	キシウ スズメ ヒエ	オモダカ			アシ カキ
中・ 後 期 剤	ジャンボ剤	セカンドショットSジャンボMX	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	3.5葉期まで
		クリンチャージャンボ	1	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	4.0葉期まで (1.5kg散布5.0葉期まで)
	液剤	パスグラン液剤(ナトリウム塩)	1	×	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	×
		ロイヤント乳剤	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	×	—	◎	—	◎	5.0葉期まで
		クリンチャーEW液剤	1	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	6.0葉期まで
		クリンチャーバスME液剤	2	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	◎	○	×	◎	◎	5.0葉期まで
	粒剤	パスグラン粒剤(ナトリウム塩)	1	×	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	×
		クリンチャー1キロ粒剤	1	◎	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	×	◎	◎	4.0葉期まで (1.5kg散布5.0葉期まで)
		バイスコープ1キロ粒剤	2	×	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	×	◎	×	◎	×
		サンパンチ1キロ粒剤	4	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

◎:効果大 ○:効果あり ×:効果なし —:登録なし

★湛水直播栽培では使用方法が多少異なるので必ずラベルをご確認ください

- JA グリーン近江の取り扱い農薬は、効果、薬害、環境への影響、経済性等を考慮して厳選しています。使用前には農薬容器のラベルをよく読んで、ラベルの記載事項を遵守してください。
- 農薬の商品に貼付されている説明事項を確認し、用法用量を守って使用しないと、薬害の発生や効果が不十分など農薬の特性を十分発揮できない場合がありますのでご注意ください。
- 詳しい取り扱い方法等、ご不明の点があれば当 JA までお問い合わせください。

水田の主な雑草

1 年 生 雑 草

多 年 性 雑 草

藻 類



ノビエ



アシカキ



ヒレタゴボウ



コウキヤガラ



ホタルイ



コナギ



キカシグサ



ミゾハコベ



ミズアオイ



アゼナ



アメリカアゼナ



タケトアゼナ



アゼトウガラシ



タマガヤツリ



イボクサ



アブノメ



アオミドロ



タカサブロウ



タウコギ



アメリカセンダングサ



クサネム



ウリカワ



ヘラオモダガ



オモダガ



マツバイ



ミスガヤツリ



クログワイ



ヒルムシロ



セリ



シズイ



エゾノサヤヌカグサ

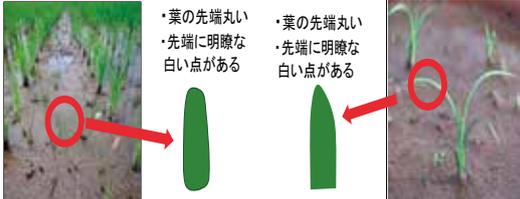


ウキグサ

ややこしい雑草の見分け方

クログワイ と ホタルイ

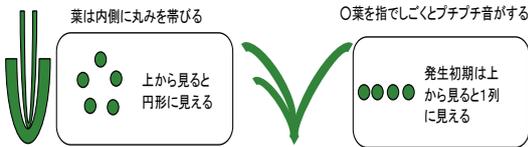
成植物



○葉を指でしごくときプチプチ音がする

○葉を指でしごくとき 花蕾のシコリがある

幼植物



花

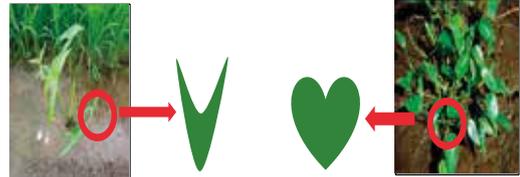


繁殖様式



オモダカ と コナギ

成植物



葉齢1～5葉期



花



繁殖様式



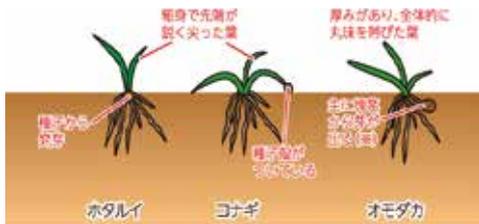
ホタルイ幼植物 と コナギ幼植物

葉齢1～5葉期(花茎抽出前)

ホタルイ



コナギ



※種子から発芽する態体もあります。

コウキヤガラ と ミズガヤツリ

成植物

コウキヤガラ



ミズガヤツリ



塊茎・花



除草剤の上手な使い方

中干しまでの水管理が重要です!!

①処理の水深は5cm以上	②水口、水尻をしっかり止める	③藻・浮草の発生前に散布
散布時の水深は、ジャンボ剤・フロアブル剤は必ず5～6cmの湛水状態を保って下さい。 ※一般的に粒剤よりもジャンボ剤やフロアブルの方が水中で広がりやすい特性があります。	処理後は少なくとも7日間はそのまま湛水を保ち、落水・掛け流しはしないで下さい。田面を露出させないようにしましょう。	藻・浮草が発生していると、拡散が不十分となり効果が劣ることがありますので、使用時期の範囲内で早めに散布して下さい。

水田の藻対策について

<藻を退治する秘訣>

田植え後に藻が大量発生したときは、夜間に落水して翌日に灌水するなどして、新しい水に入れ換えてみましょう。大雨が降れば、藻や表土剥離、ワキは自然に消滅しますので、水の入換えは不要です。

また、水温が30℃以上になれば、アオミドロや藻は死滅します。

藻が発生したままで除草剤をまくと、ジャンボ剤やフロアブル剤の拡散が悪くなるので除草効果が著しく悪くなります。除草剤を散布する前に水を入れ換えるなどの対策をしておきましょう。

藻に効く除草剤成分：ジメタメトリン(バレージ粒剤・サンパンチ1キログラム粒剤 等)

近年の難航雑草について～水田の厄介な雑草防除特集～

ヒレタコボウ

◇アカバナ科の一年生雑草で、熱帯アメリカ原産の帰化植物です。

◇発生時期が遅く、田植え直後の除草剤だけでは防除が難しい。

◇草丈は30cm～100cmを越えるものもある。

→中干し頃に幼植物が見られた場合は中後期剤にて防除を行います。

「セカンドショットSジャンボ」「バサグラン剤」「ロイヤント乳剤」が効果があります。

アメリカセンダングサ

◇キク科の一年生雑草で、成熟すると150cm近くに育ち収穫作業に影響を及ぼす。

◇田面の露出した部分に発生しやすく、一旦定着すると湛水下でも旺盛に生育する。

→生育初期の個体には「セカンドショットSジャンボ」「バサグラン剤」が有効とされています。

キシュウズメノヒエ

◇イネ科の多年生雑草で、水路や畦畔に多く生育し水田に侵入してくる。

◇伸長中の茎は切断されても節があるとそこから発根発芽する。

→生育初期の個体には「セカンドショットSジャンボ」「サンパンチ1キログラム粒剤」が効果があります。

→生育の進んだ個体には「クリンチャー」が有効とされています。

→耕起による切断・埋没ではほとんど死滅しないため、水稲刈跡に非選択性除草剤「ラウンドアップマックスロード」による防除が効果的です。

クサネム

◇マメ科の一年生雑草で、種子が玄米と同程度の大きさです。収穫時に混入すると除去が困難で、品位等級を低下させてしまいます。

◇湛水状態よりも畑地状態を好むため、田面露出部分からの発生が多いです。

→生育初期の個体には「セカンドショットSジャンボ」「バサグラン剤」「バイスコープ1キログラム粒剤」が効果があります。

→生育の進んだ個体には「ロイヤント乳剤」が効果があります。

イボクサ

◇ツククサ科の一年生雑草で畦畔際に多く、茎が地面を這うように伸びほ場内へと侵入してくる。

◇水稲に絡みつくと、水稲の減収や倒伏の他、収穫作業の障害となる。

→初中期一発除草剤の場合「ジェイソウル」が効果が高い。

→生育初期の個体には「セカンドショットSジャンボ」「バイスコープ1キログラム粒剤」が効果的です。

→生育の進んだ個体には「ロイヤント乳剤」が効果があります。

ノビエ

◇イネ科の一年生雑草で、穂はカメムシを誘引するため斑点米被害にもつながります。

→初中期一発除草剤の場合「カイリキZ」が残効性が有り効果が高い。

→発生が確認されたら、「セカンドショットSジャンボ」「クリンチャー」で防除を行う。(ヒエの葉期を確認すること)

→水保ちが悪い場合は、「クリンチャーバスメ」「クリンチャーEW」が効果があります。



【イネ縞葉枯病】 県内にて被害拡大中。広域での対策を！

増えています、稲刈り後の黄色い田んぼ



縞葉枯病は、ヒメトビウンカが媒介するウイルス病で、ウイルスを保毒したヒメトビウンカが稲を吸汁することで感染・発病する。

症状は、葉が黄緑色または黄白色で稲の生育初期に発病すると、穂が出すくみによる籾の不稔や株枯れにより減収する。

県内での発生が年々増加しており、減収の一因となっております。(発病すると治療方法がなく、箱施用剤での防除が基本となる)

← 再生芽（ひこばえ）によるイネ縞葉枯病発生株
[R 6 近江八幡市にて]

いちど近隣にある田んぼをご確認ください

被害拡大を抑える対策例

- ★ **【早期の耕起】** 秋耕（年内の耕うん作業）の
[確実な] 実施による病害発生株の鋤き込み
- ★ **【畦畔除草】** ウンカ類が潜む [イネ科雑草] の除去
- ★ **【薬剤防除】** 育苗箱施用剤の導入および
[規定量] 散布の徹底（散布量が少ないケースが多い傾向）

※箱施用剤において、ウンカに対して効果の高い成分
「トリフルメゾピリム」「オキサゾスルフィル」「フルピリミン」

注意報発令時や多発の懸念がある場合は
幼穂形成期前に本田防除を！

水稻病害判定シート

—ほ場で見分ける—

葉に症状が出る病気



★葉に出る障害の見分け方★

<p>灰白色</p> <p>褐色</p> <p>葉いもち</p> <p>葉にながいていし形の病斑。縦に褐色の線が伸びる。</p> <p>黄色</p>	<p>白葉枯病</p> <p>葉の先端付近から両縁に波形の病斑が現れる。</p>	<p>赤葉枯病 (生理障害)</p> <p>下葉の先から赤褐色の細かい斑点ができる。病原菌によるものではなく、伝染しない。</p>
<p>褐色～灰白色</p> <p>黒褐色</p> <p>黄色</p> <p>ごま葉枯病</p> <p>丸みを帯びた病斑。同心円状の輪紋がある。</p>	<p>白色</p> <p>黄白色～オレンジ色</p> <p>除草剤の害 (畦畔除草剤)</p> <p>健全部と異常部の境目がはっきりしている。薬剤による症状は異なるので、周囲の状況を見て診断する。</p>	



穂に症状が出る病気



本田予防または、発病が認められたら・・・

病名	薬剤名	使用量	効果	使用時期
いもち病	コラトップ粒剤	3～4kg/10a	予防	葉いもちに対しては初発10日前～初発時 穂いもちに対しては出穂30日前～5日前まで
	ブラシン粉剤	3～4kg/10a	治療	収穫7日前まで
紋枯病	モンガリット粒剤	3～4kg/10a	予防	収穫30日前まで
	モンカットファイン粉剤	3～4kg/10a	治療	収穫14日前まで
	リンバー粒剤	3～4kg/10a	治療	収穫30日前まで

※特別栽培米には、使用できませんのでご注意ください。

水稻害虫判定シート

—ほ場で主要害虫を見分ける—

移植期～出穂期(春～夏)の害虫



イネドロオイムシ
(幼虫4～6mm)



セジロウンカ
(成虫4～4.5mm)



ヒメトビウンカ
(成虫3～4mm)



コバネイナゴ
(成虫30～40mm)



イネクロカメムシ
(成虫6～9.5mm)



イネミスゾウムシ
(成虫3mm)



イネミスゾウムシ
(さなぎ3mm)



ニカメイガ
(幼虫1.6～23mm)



ニカメイガ
(成虫15～17mm)

出穂期～収穫期(夏～秋)の害虫



アカスジカスミカメ
(成虫5～7mm)



クモヘリカメムシ
(成虫16mm)



イネホソドリカスミカメ
(成虫6mm)



ホソハリカメムシ
(成虫9～11mm)



トビロウンカ
(成虫4～4.8mm)



ツマグロヨコバイ
(成虫4.5～5.3mm)



イネカメムシ
(成虫12～13mm)



ミナミアオカメムシ
(左:成虫 12～16mm)



(右:若齢幼虫 6～8mm)

被覆肥料におけるマイクロプラスチック対策について

令和7年産米より、マイクロプラスチックを排出しない被覆レス肥料を導入します。

元肥一発（早生）



元肥一発（中晩生）



元肥



穂肥



UF入り有機化成355
（早生）

UF入り有機化成355
（中晩生）

ハーフUF355

ハーフUF306

令和7年産より、環境こだわり米を『緩効性肥料の利用』で取組む場合は、**従来の被覆肥料では環境直接支払交付金の対象外**となるためご注意ください。

※従来の元肥一発、元肥・穂肥の取扱いもあります。

大口取引奨励・引取奨励

大口取引奨励

予約申込頂いたご購入金額より、下記の割合にて奨励を行います。

ご購入金額	割合
100万円以上200万円未満	0.5%
200万円以上300万円未満	1.0%
300万円以上400万円未満	1.5%
400万円以上500万円未満	2.0%
500万円以上	2.5%

【支払予定日】 令和7年11月末

引取奨励

予約された商品をJAまで引取の場合、各規格ごとに値引きを行います。

【肥料農薬引取価格について】

土づくり肥料及び育苗培土 → 1袋につき20円引き
注1)フレコン規格は20kg換算します。

肥料(15kg・20kg) → 1袋につき30円引き

農薬(通常規格) → 1袋につき15円引き

農薬(10kg以上・2L以上) → 1袋につき30円引き
注2)超大型規格は対象外です。

【代金決済】 令和7年9月末

(別紙様式1-2)

令和7年産「みずかがみ」遵守事項確認書

令和 年 月 日

近江米振興協会長 様
(種子取扱業者経由)

申請者

住 所
氏 名

印

(本人自署の場合は押印不要)

電話番号

令和7年度において、「みずかがみ」を栽培したいので、令和7年産「みずかがみ」生産ガイドライン第3の2に基づき、誓約事項のすべてを誓約の上、下記のとおり申し込みます。

記

「みずかがみ」の栽培予定面積

栽培予定面積 (a)

○誓約事項

チェック欄 (記載内容を確認し、誓約する場合には、チェック欄に☑を記入すること)

1. 栽培申込みのあった者の種子需要量の合計が、種子の確保量を超えた場合には、近江米振興協会が行う、生産者および栽培面積の調整に応じます。
2. 作付けにあたっては、環境こだわり農産物の認証申請に先立つ書類 (生産者・ほ場一覧表およびほ場位置図) を提出します。
3. 県が作成する栽培基準に沿って栽培します。
4. 全量種子更新し、自家採種は行いません。
5. 種子を第三者に譲渡しません。
6. 出荷にあたっては、1.85mm以上の網目で調製します。
7. 出荷にあたっては、農産物検査を受検します。
8. 飼料用米やWCS用稲として栽培しません。
9. 栽培ほ場には、ほ場看板等を設置します。

以上

(注) ※1 令和2年12月の種苗法の一部改正により、法律によっても自家採種は禁止されます。

※2 個人情報の取扱い (利用目的)

この確認書で知り得た情報は、上記実施要領に基づく確認のために利用するもので、他の目的には使用しません。

この確認書は、種子取扱業者経由で近江米振興協会へ提出します。

※3 申込みには誓約事項のチェック欄のすべてにチェックする必要があります。誓約事項9は任意ですが、できる限りお願いします。

令和7年産「みずかがみ」 作付予定ほ場一覧表

令和 年 月 日

(☆ 滋賀県の環境こだわり農産物認証申請を行うため、必ずほ場をご記入頂きますようお願いいたします。)

No.	圃 場 所 在 地	面 積 (a)	備 考
1	町小字 番地	a	
2	町小字 番地	a	
3	町小字 番地	a	
4	町小字 番地	a	
5	町小字 番地	a	
6	町小字 番地	a	
7	町小字 番地	a	
8	町小字 番地	a	
9	町小字 番地	a	
10	町小字 番地	a	
11	町小字 番地	a	
12	町小字 番地	a	
13	町小字 番地	a	
14	町小字 番地	a	
15	町小字 番地	a	
16	町小字 番地	a	
17	町小字 番地	a	
18	町小字 番地	a	
19	町小字 番地	a	
20	町小字 番地	a	
	合 計	a	

(注) 必ず、共済細目書の作付面積をご記入ください!

住所		取引先 コード	—
氏名		TEL	() —

令和7年産「特別栽培米」 作付予定ほ場一覧表

令和 年 月 日

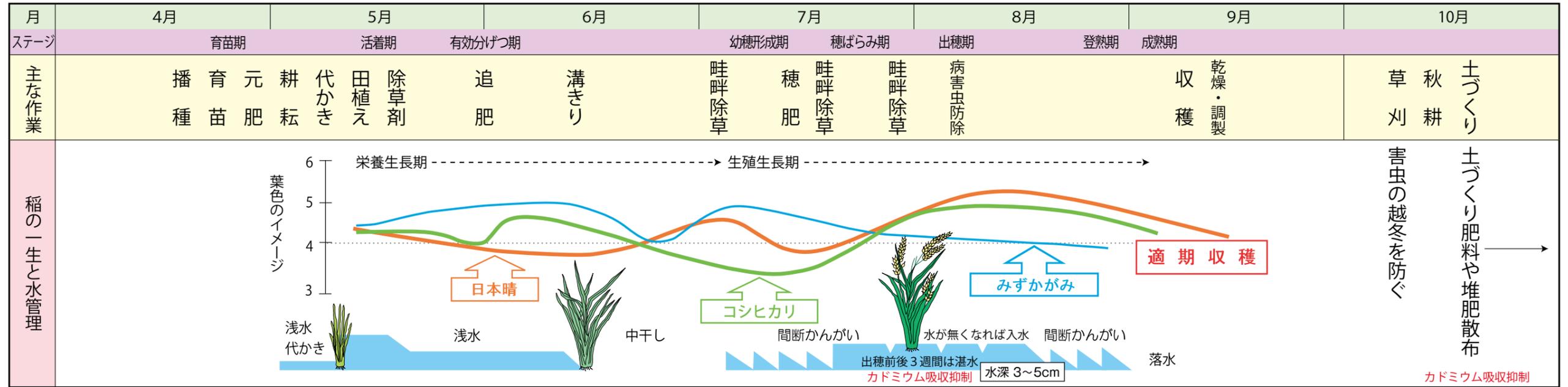
(☆ 滋賀県の環境こだわり農産物認証申請を行うため、必ずほ場をご記入頂きますようお願いいたします。)

No.	圃 場 所 在 地	面 積 (a)	作 付 品 種
1	町小字 番地	a	
2	町小字 番地	a	
3	町小字 番地	a	
4	町小字 番地	a	
5	町小字 番地	a	
6	町小字 番地	a	
7	町小字 番地	a	
8	町小字 番地	a	
9	町小字 番地	a	
10	町小字 番地	a	
11	町小字 番地	a	
12	町小字 番地	a	
13	町小字 番地	a	
14	町小字 番地	a	
15	町小字 番地	a	
16	町小字 番地	a	
17	町小字 番地	a	
18	町小字 番地	a	
19	町小字 番地	a	
20	町小字 番地	a	
	合 計	a	

(注) 必ず、共済細目書の作付面積をご記入ください！

※データ (Excel) が必要な方は、JAグリーン近江ホームページ内 (<https://www.jagreenohmi.jas.or.jp/>) にアップしていますので、ご利用ください。

水稻栽培ごよみ



①落水時期は、収穫に支障のない限りできるだけ遅くしてください。 ②各品種とも、各茎で3枚以上生葉での確保を目標にしてください。 ③出穂3週間前から畦畔雑草の刈り取りを徹底し、カメムシ予防につとめてください。

作業スケジュール (下記スケジュールは、気温により前後いたしますので目安としてご利用ください)

品種	播種	田植	追肥	中干し		穂肥①		穂肥②	出穂期		収穫期		備考		
	月日	月日	月日	月日	中干し開始(60株植)	月日	幼穂	葉色板色	月日	月日	葉色板色	月日		稈長	
5月上旬植	みずかがみ			—	6月10日	16~17本/株	6月27日		3.5	—	7月22日	5.0	8月24日	84cm	早期に分げつを確保するため、5月上旬植を励行する。(平地では60株/坪植)。
	ゆめおうみ						7月9日	1mm	4.0	7月16日	8月3日		9月6日	73cm	早植え多肥栽培や早期落水により腹白、死米が発生するので注意。
	日本晴	4月15日	5月5日	6月20日	6月中旬~	17本~18本/株	7月15日			7月22日	8月9日	5.5	9月13日	83cm	秋落ち水田では、ごま葉枯病や穂枯れが出やすいので土づくりを徹底する。
	秋の詩						7月25日	8~10mm	3.5	8月1日	8月12日		9月16日	94cm	いもち病に弱く、倒伏しやすいので肥沃地では施肥量、施肥時期に注意。
	滋賀羽二重糯			6月25日~	6月中旬~	16本~17本/株	7月26日	8~10mm	3.5	8月2日	8月13日	5.0	9月21日	103cm	倒伏しやすく、いもち病に弱い。漏生もみによる混種に注意。
5月中旬植	コシヒカリ	4月28日	5月15日	6月10日	6月中旬~	17本~18本/株	7月10日	8~10mm	3.5	7月17日	7月28日	5.0	8月31日	95cm	いもち病に弱く、倒伏しやすいので、穂肥の時期と施用量に注意。
	キヌヒカリ						7月4日	1mm	4.0	7月11日	7月29日	5.5	9月1日	83cm	穂発芽しやすいので高温多湿時には刈り遅れに注意。乳白・心白が出やすいので注意。

注意:1.穂肥施用後、葉色が徐々に濃くなるよう穂肥②で加減してください(出穂期に上表の葉色数値が上限です) 2.中苗植えの場合は幼穂形成期・出穂期が2~3日早くなります。収穫時期もその分早くなりますので刈り遅れないようにしてください。

育苗(稚苗)作業スケジュール

※(下記スケジュールは、気温により前後いたしますので目安としてご利用ください)

育苗の手順	種子消毒	風乾	浸種	催芽	播種	出芽	緑化	硬化	田植
		温湯消毒後はそのまま冷水で浸種するか、冷却後十分乾燥する(薬剤消毒では風乾後に浸種する)	浸種の水は2日毎に交換して下さい。1日の平均気温の積算が100℃(薬剤消毒のときは流水に漬けない)。	30~32℃ 32℃を超えないように。	薄まきし、健苗をつくる。 稚苗:160g	出芽器の温度は30~32℃として、鞘葉が1cm位出た頃に緑化へ移す。	天候により健苗シートの管理に十分注意して下さい。葉身が緑になるまで強い日光や低温にあてない(昼25℃、夜18℃)	晴天日の日中は換気を十分行う(昼間20℃、夜間15℃)	
5/5日植	4/2	4/2~5	4/5~12	4/12~14	4/14	4/14~17	4/17~20	4/20~	5/5
5/15日植	4/15	4/15~18	4/18~25	4/25~27	4/27	4/27~4/30	4/30~5/3	5/3~	5/15

水稻種子は、浸種中および催芽期に低温(10℃以下)にあたると出芽が著しく悪くなります。育苗器を使用しない出芽方式では、気象条件によって苗の出芽不良を生じる場合があるので、温度管理と水管理に十分ご注意ください。

※毎年必ず種子更新しましょう ※薬剤消毒の場合は、同じ薬液を3回以上使用しないで下さい(効果が極端に減少します)

令和7年産米 滋賀県版GAP

各項目のチェック欄に、正確に取り組みられた項目は○、一部取り組みられた項目は△、出来ない項目は×、該当しない項目は－を記入してください。

団体名	住所
氏名	電話番号

目的	番号	点検項目	チェック	目的	番号	点検項目	チェック
ほ場における環境衛生管理	1	周辺の廃棄物や有害物質等から、ほ場や用水への汚染がないか確認する。		肥料による環境負荷の低減	30	土壌診断結果や施肥基準に基づく施肥を行う。	
	2	農薬を使用する前に、登録農薬であるか確認する。(農林水産省の登録番号を確認するなど)			31	たい肥を施用する場合は、外来雑草種子等の殺滅のため、適切にたい肥化されたものを施用する。	
	3	ラベルに記載されている最終有効年月を過ぎた農薬を使用しない。			32	(畦畔等からの漏水防止対策) あげ塗り、畦畔の補修、畦畔シートの設置等を行う。	
	4	農薬は、適用作物名や希釈倍数、使用時期、注意事項等ラベルに記載されている使用方法を守って使う。			33	(浅水代かき) 水田ハローやロータリによる浅水代かきを実施する。	
	5	防除器具の使用にあたり、事前にノズル等を点検する。			34	(田植え前の水管理) 田植え前の強制落水を行うわない。	
	6	防除器具の使用にあたり、タンク、ホース、ノズル等が十分に洗浄されているか確認する。			35	代かき～田植え後は、こまめに排水口や畦畔からの漏水がないことを確認する。	
農薬の安全・適正使用	7	使用後は、タンク、ホース、ノズル等を十分に洗浄する。		健全な土壌の確保	36	県が定める環境こだわり農産物栽培基準「たい肥その他の有機質資材の施用基準」に基づき、たい肥等の有機物を施用する。	
	8	農薬を散布しようとするほ場周辺の栽培作物を確認し、必要に応じて、飛散が少ない形状の農薬、散布方法、散布器具等を選択する。			37	降雨や強風によって土壌が浸食を受け作土層が失われていくおそれがある場合には、土壌の浸食を軽減する対策を実施する。水田の場合は、用水路の管理や、畦畔崩壊防止対策も実施する。	
農薬、燃料等の保管管理	9	農薬や肥料、燃料は、専用の保管場所(農産物や他の資材等と接触しないよう)に保管する。特に、劇薬物については、容器・貯蔵場所等へ表示する。		廃棄物の適正な処理	38	農薬、肥料等の空容器や空袋、使用済みハウスビニール、期限切れ農薬等は、廃棄物処理業者への委託等により、適切に処理し、不適切な焼却は行わない。	
	10	種子を更新し、異品種の混入を回避する。			39	エンジンオイルやベルト、チェーン、タイヤの空気圧等農業機械の定期的な点検や整備を実施する。	
農産物の衛生的な取扱	11	作業(収穫・乾燥・調製)しながら喫煙や飲食をしない。(休憩時間に喫煙、飲食をする等)		エネルギーの節減	40	農業機械は、必要以上に高いエンジン回転で作業せず、負荷の状態に合った適正なエンジン回転で作業する。	
	12	作業(収穫・乾燥・調製)時に機械のネジや金属片、裝飾品等が混入しないよう対策を実施する。			41	中干しを適期(茎数が目標穂数の8割になった時)に実施する(期間は7～10日間)。	
農産物の品質向上	13	出穂前後各3週間の湛水管理と土づくり資材の施用等のカドミウム吸収抑制対策を実施する。		琵琶湖等への環境保全意識の高揚	42	県が推進する環境こだわり農業に取り組み等、環境と調和のとれた農業を実践する。	
	14	適期を逃さずに刈り取る。			43	放任果樹の除去や柵の設置等、鳥獣を引き寄せない取組を行う。	
農産物の品質向上	15	収穫後の籾(もしくは粒)を長時間放置せず、速やかに通風乾燥するか、乾燥施設に搬入する。		作業者の健康管理と事故防止	44	体調が悪い時や酒気を帯びている時は、農作業に従事しない。	
	16	乾燥・調製作業の開始前に、各設備の整備・点検を行う。			45	農薬散布、機械作業、施設の補修等、安全に作業を行うための適切な服装やマスク等の保護具を着用する。	
農産物の品質向上	17	乾燥・調製作業は、適正な温度管理、水分管理のもと行う。		安全な作業環境の確保	46	農薬散布で着用した保護具は、洗浄し、他のものとは別に保管する。	
	18	倒伏や病害虫による被害籾、高水分籾(もしくは被害粒、高水分粒)は仕分けして、乾燥・調製等作業を行う。			47	農作業事故につながる恐れのある危険な箇所を把握し、危険箇所の表示やほ場の出入口の傾斜を緩くする等、作業環境を改善する。	
農産物の品質向上	19	種子袋や育苗箱に品種名を明記し、品種の切り替えは、取り違い・他品種の種子が混入しないようにする。		農業機械等を導入・使用する際の安全確認	48	農業機械、器具の始業前点検や使用後の整備等、取扱説明書に基づき、適切な保守点検の実施に努める。	
	20	田植えにおける品種の切り替えは、取り違いがないよう苗箱の品種を確認する。			49	農業機械の機能、使用上の注意事項、使用時の危険回避方法等、取扱説明書をよく理解した上で操作する。	
農薬による環境負荷の低減	21	作業(収穫・乾燥・調製)時における品種や作物の切り替えは、事前にコンバイン・乾燥機等の清掃を徹底する。		農作業事故に対する備え	50	農業生産活動の維持・持続に向けた保険に加入する。	
	22	散布面積や作物の生育状況、ラベルの記載内容を確認し、散布に必要な量だけを調製する。			51	特許技術は、適切な手続きを経て活用する。	
農薬による環境負荷の低減	23	農薬散布後1週間は落水、かけ流しをしない。		新品種育成者の権利保護	52	登録品種の種苗は、適切な手続きを経て利用する。	
	24	斑点米カメムシ類対策として、出穂2～3週間前と出穂期に畦畔除草を行う。			53	ほ場の位置、面積等に係る記録を作成し、保存する。	
農薬による環境負荷の低減	25	病害虫の発生源となる雑草や補種用余剰苗を除去する。		情報の記録・保管	54	農薬、肥料の使用状況や播種、定植、収穫の作業実施日等、農業生産活動に関する情報を記録し、保存する。	
	26	抵抗性品種や輪作体系等を導入する。			55	農薬や肥料、種子、苗等の購入伝票、保証書を保存する。	
農薬による環境負荷の低減	27	発生予防情報やほ場、その周辺における病害虫の発生状況を確認した上で防除する。		特定の米穀についての保管・処理	56	品名や出荷日、出荷量等、取引に関する内容を記録し、保存する(保存3年)	
	28	温湯消毒、生物農薬の使用等、化学合成農薬を使わない防除を実施する。			57	加工用米や新規需要米等は、明確に区分管理する。	
	29	農薬を散布する前に、近隣農家・住民に周知する。			58	販売時は、包装等に用途を表示したり、定められた用途に使用されるよう契約書に記載する等の転用防止対策を実施する。	
					59	かびの付着や残留農薬等基準値を超過した米は、明確に区分管理し、廃棄等により、適切に処置する。	

令和7年産米の栽培記録

●栽培管理日誌の控えとしてお使い下さい●

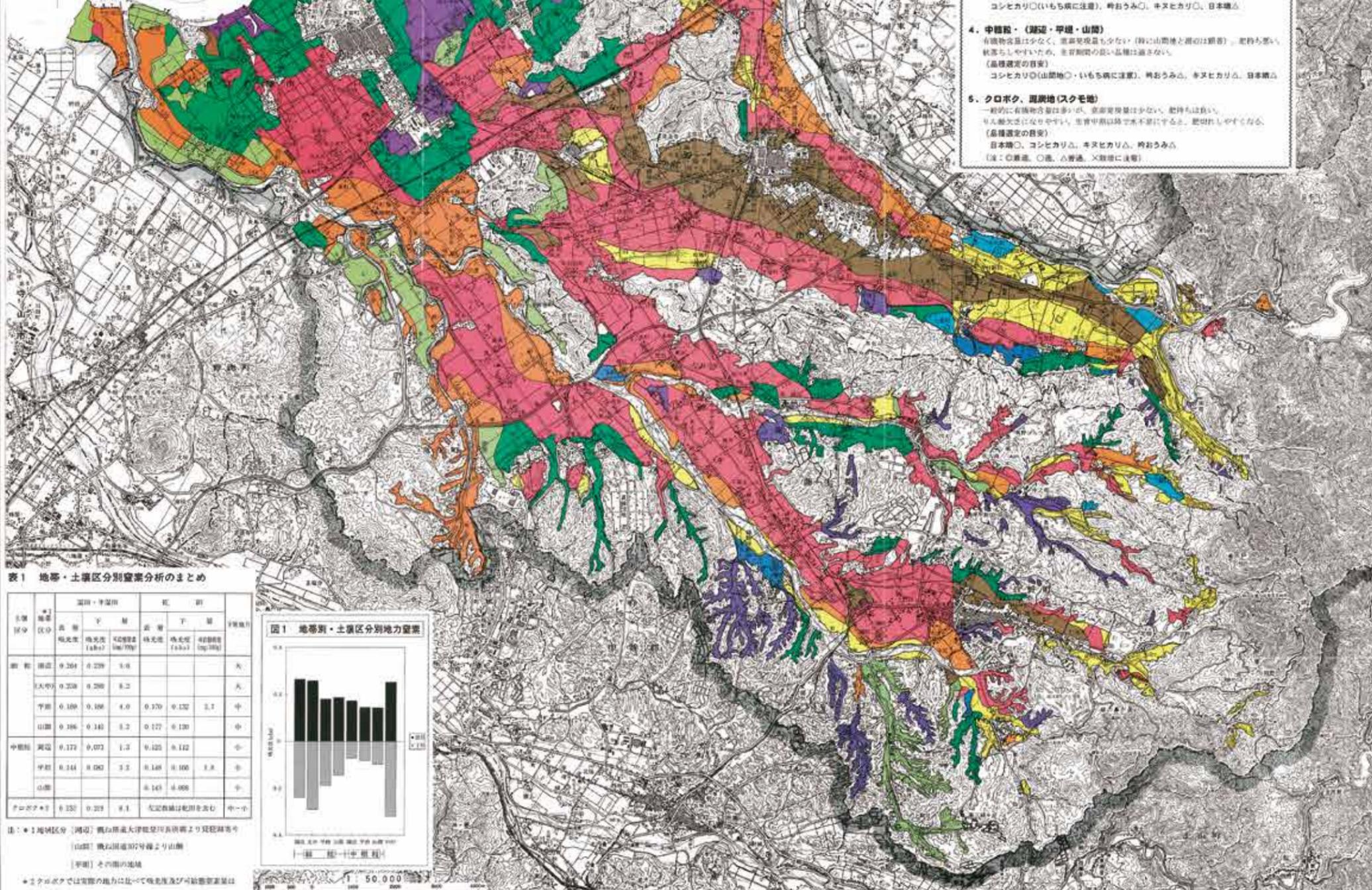
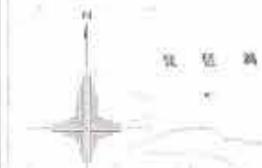


品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥1回目	穂肥2回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		~	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg/10a	倍× 時間	箱/10a	kg/10a	株/坪 kg/10a	/10a	kg/10a			kg/10a	kg/10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥1回目	穂肥2回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		~	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg/10a	倍× 時間	箱/10a	kg/10a	株/坪 kg/10a	/10a	kg/10a			kg/10a	kg/10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥1回目	穂肥2回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		~	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg/10a	倍× 時間	箱/10a	kg/10a	株/坪 kg/10a	/10a	kg/10a			kg/10a	kg/10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥1回目	穂肥2回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		~	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg/10a	倍× 時間	箱/10a	kg/10a	株/坪 kg/10a	/10a	kg/10a			kg/10a	kg/10a		/10a	/10a	
品種	面積	土づくり	種子消毒	播種	元肥	田植	除草剤	追肥	溝切り	中干し	穂肥1回目	穂肥2回目	出穂期	病害虫防除①	病害虫防除②	収穫
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
		肥料	農薬	育苗培土	肥料	植付株数 農薬	農薬	肥料		~	肥料	肥料		農薬	農薬	
		kg/10a	倍× 時間	箱/10a	kg/10a	株/坪 kg/10a	/10a	kg/10a			kg/10a	kg/10a		/10a	/10a	

*データ (Excel) が必要な方は、JA グリーン近江ホームページ内 (<https://www.jagreenohmi.jas.or.jp/>) にアップしていますので、ご利用ください。

凡例

	細粒	中粗粒	れき質
遅田	赤	青	黄
半遅田	緑	紫	茶
乾田	赤	黄	茶
クロボク 遅田(スクモ)	茶	黄	茶



東近江の水田土壌マップ

【土壌特性と品種選定】

おいしいお米をつくるためには土壌に応じた肥培管理や品種の選定が重要です。測定～山陽部にかけての水田土壌マップと地力診断の分析結果をまとめたので、地帯・土壌区別の肥培管理の参考として良食米・良品米生産にお役立て下さい。

- 1. 細粒・遅田(大中)**
土質は肥沃で、肥持力が高い。特に、生育前半に窒素吸収が多い。富栄養に敏感な。固いやわい品種は作りにくい。収量高で早生より晩生品種の方が有利。(品種選定の目安)
日本晴○、特あみ○、ネヌヒカリ○、コシヒカリ△×
- 2. 細粒・半遅**
地力富栄養の肥田土壌とみられるが、肥持力は低い。肥持力は低いが、富栄養現象は少ないため、多肥向き品種では収量はあがる。(品種選定の目安)
日本晴○、特あみ○、ネヌヒカリ○、コシヒカリ△
- 3. 細粒・山陽**
有機物含量は少なく、一般にpHが酸性側を傾いて地力は低い。肥持力は低いが、富栄養現象は少ないため、多肥向き品種では収量はあがる。(品種選定の目安)
コシヒカリ○(いもち病に注意)、特あみ○、ネヌヒカリ○、日本晴△
- 4. 中粗粒・(遅田・半遅・山陽)**
有機物含量は少なく、富栄養現象も少ない(特に山陽部と遅田部)。肥持力は低い。秋蒔しやわい品種、生育前期の長い品種は適さない。(品種選定の目安)
コシヒカリ○(山陽部)・いもち病に注意、特あみ○、ネヌヒカリ△、日本晴△
- 5. クロボク、遅田(スクモ)**
一般的に有機物含量は多いが、富栄養現象は少ない。肥持力は高い。りん酸欠乏になりやすい。生育前半以降で水不足になると、肥切れしやすい。(品種選定の目安)
日本晴○、コシヒカリ△、ネヌヒカリ△、特あみ△
(注：○の最適、△は注意、×は避ける)

表1 地帯・土壌区別別地力診断のまとめ

土壌区別	地帯	遅田・半遅田		乾田				
		地力	地力	地力	地力			
細粒	遅田	0.264	0.229	0.6	大			
中粗粒	遅田	0.208	0.200	0.2	大			
細粒	半遅田	0.169	0.166	4.0	0.170	0.132	2.7	中
中粗粒	半遅田	0.166	0.140	3.2	0.177	0.120		中
細粒	山陽部	0.172	0.073	1.2	0.120	0.112		中
中粗粒	山陽部	0.144	0.080	3.3	0.148	0.100	3.8	中
クロボク	遅田	0.130	0.029	0.1	0.143	0.088		中

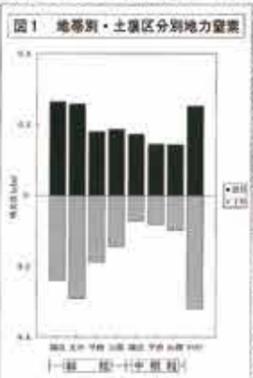


図1 地帯別・土壌区別別地力診断

表2 地帯・土壌区別別窒素分析数値

地帯	土壌区別	遅田・半遅田		乾田	
		地力	地力	地力	地力
遅田	細粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	中粗粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
半遅田	細粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	中粗粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
山陽部	細粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	中粗粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
クロボク	細粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	中粗粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001

表3 地帯・土壌区別別窒素分析数値

地帯	土壌区別	遅田・半遅田		乾田	
		地力	地力	地力	地力
遅田	細粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	中粗粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
半遅田	細粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	中粗粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
山陽部	細粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	中粗粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
クロボク	細粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	中粗粒	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001
	山陽部	0.001	0.001	0.001	0.001

東近江の水田土壌マップ
作成 平成10年9月
滋賀県東近江産農センター
〒527-0023
八日市市 緑町2-1-1
TEL (0748) 23-0653
FAX (0748) 25-1531
滋賀県中部産農センター
〒527-0023
八日市市 緑町2-2-3
TEL (0748) 22-7727
FAX (0748) 23-6441
西部支所
〒523-0931
近江八幡市 坂町2-8-3
TEL (0748) 33-2750
FAX (0748) 32-6446
協力：滋賀県産農センター
グリーン・エコ農産物推進
滋賀県産農協同組合
農産物直売所協議会

この図は、滋賀県産農センターが作成したものである。滋賀県産農センター 1017号

JAグリーン近江では管内の営農従事者、
法人の皆様の「ええやん農業!」と
思ってもらえる情報発信、取組紹介など
YouTubeチャンネルを運営しています。



チャンネル登録
よろしくお願ひします!!

スマホなどのカメラ機能でスキャンしてください▶▶▶





お問い合わせ・ご相談は

部 署	TEL	FAX
近 江 八 幡		
近江八幡営農振興センター	33-6705	33-6715
ジェネット八幡	33-6300	33-6307
大中の湖営農振興センター	46-3100	46-3168
ジェネット大中の湖	46-8003	46-3315
東 近 江		
東近江中央営農振興センター	22-6620	22-6622
ジェネット東近江		
南部配送センター(営農)	27-1201	27-0977
東近江湖辺営農振興センター	42-2133	42-8155
日 野		
日野営農振興センター	52-2212	53-0987
ジェネット日野		
竜 王		
竜王営農振興センター	58-3767	58-2705
ジェネット竜王		
八幡駅前事業所		
経済事業部	経 済 課	33-8427
営農事業部	営 農 振 興 課	33-8453
	農産販売促進課	33-8452
	施設管理課	33-8458
	特 産 課	33-8454
	き て か ～ な	32-0111

